

プラズマディスプレイ

PDP-503PRO

メールサービス登録のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/members/>

お買い上げいただきました製品についての「お客様オンライン登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと、プレゼントや懸賞商品が当たるキャンペーン/イベント情報や各種製品情報等のご案内をさせていただきます。

ご登録は上記URLにアクセスしてご利用ください。

(iモード及び一部のインターネット対応携帯電話からもご利用できます。)

新規登録されたお客様には、毎月プレゼントを抽選にて差し上げております。詳しくは、上記URLにアクセスしてください。


安全上のご注意


安全に正しくお使いいただくために

図記号について


この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな図記号を使用しています。その記号と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。


 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。


図記号の意味

 △記号は注意（警告を含む）しなければならない内容です。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

 ⊘記号は、やってはいけない（禁止）内容です。

図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

 ●記号は、必ず行っていただく（強制）内容です。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告

異常時の処置

万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるを確認して、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



プラグを抜け

画面が映らないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて、修理を販売店にご依頼ください。



プラグを抜け

万一内部に水や異物等が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け

万一、本機を落としたり転倒させることにより、キャビネットあるいはプラズマパネルを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け

設置

本機は大型で重量があるので、ぐらついた台や傾いた所などを避け安定した場所に置いてください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。必ず転倒防止の備えをしてください。

また、開梱や持ち運びは二人以上で行ってください。



禁止

電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。重いものをのせるとコードが傷ついて、火災・感電の原因となります。



禁止

セット背面及び側面の通気孔からの放熱を妨げないでください。他の機器・壁等から上面は10cm、左右・下面及び後面は5cm以上離して設置してください。また通気孔からは熱風が放出されますので近くの壁、物品等の耐熱性には十分注意してください。放熱を妨げますと内部が高温になり、回路、パネルの破壊や火災の原因となります。

特殊な設置（壁埋め込み設置等）をする場合には、使用環境条件等に制限が加わる可能性がありますので、必ず販売店にご相談ください。



禁止

使用環境

本機の内部に水が入ったり、濡らさないようご注意ください。屋外や風呂場など、水場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



100V以外禁止

本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。



禁止

使用方法

本機の上に花びん、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

本機を分解したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご依頼ください。



分解禁止

本機の通気孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止

高圧注意

サービスマン以外の方はキャビネットを開けないでください。内部には高電圧部分や高温となる場所が数多くあります。万一さわると危険です。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが痛んだら（芯線の露出、断線など）、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店に交換をご依頼ください。



禁止

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



ほこり除去

乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したらすぐに使用を中止して、電源プラグや接続されているコード類には触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

本機の前面パネルに、たたくなどして衝撃を加えるとパネルが割れ、火災・けがの原因となります。前面パネルには絶対に衝撃を加えないでください。



禁止

⚠ 注意

設置

<p>放熱を良くするため他の機器・壁等から指定された間隔をとってください。また、次のような使い方をしないでください。通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。 ・じゅうたんやふとんの上に置く。 ・テーブルクロスなどをかける。 ・横倒しにする。 ・逆さまにする。 	<p>窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。</p>
<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、本機を操作しないでください。感電の原因となることがあります。</p>	<p>例えば、5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまっただけで、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。</p>
<p>電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</p>	<p>お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。</p>
<p>本機の上にものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。</p>	<p>本機はガラス部品を使用しています。万一部品が割れた際には、破片だけがなどをしないよう取扱いに注意し、販売店に修理をご依頼ください。</p>
<p>電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p>	<p>本機を直射日光が当たる場所に長期間置かないでください。前面保護パネルの光学特性が変化し、変色したり、そりの原因となります。</p>
<p>本機を調理台や加湿器、エアコンの吹き出し口のそばなど高温、多湿になる場所あるいは油煙、およびほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p>	<p>本機の背面にある通気孔は、1ヵ月に1回を目安に掃除機でホコリを吸い取ってください（このとき掃除機は「弱」に設定してください）。また、通気孔のお手入れは必ず本機の主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ホコリをためたまま使用すると内部の温度が上昇し、故障や火災の原因となります。</p>
<p>本機は質量が約40kgあり、奥行がなくて不安定なため、開梱や持ち運び、および設置は2人以上で行ってください。</p>	<p>本機の電源プラグは3芯になっています。性能維持のため、機器のアースは接続してお使いください。アース端子がある2芯コンセントの場合は付属の3→2ピン電源変換プラグを付けてお使いください。コンセントが2芯専用でアース端子がない場合は、アース工事が必要ですので専門業者に工事をご依頼ください。また、コンセントが3芯用の場合は、そのままお使いください。</p>
<p>移動させる場合は主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部のコード、転倒防止具を外したことを確認してください。コード類を外さずに移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p>	<p>設置の際、本機を梱包から取り出し、一時的に寝かせておく場合、以下の点にご配慮ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・置き場所は、水平な安定した場所でお願います。また、本体に傷がつかない様、異物には十分注意してください。 ・本機の画面側を下にして寝かす場合、前面パネル部のみに荷重をかけるような置き方は、決してしないでください。
<p>屋外での移動時、雨などにより本機に水滴が付着しないようにしてください。水滴が付着した場合はよく乾燥させてからご使用ください。水滴が付着したまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。</p>	

使用環境

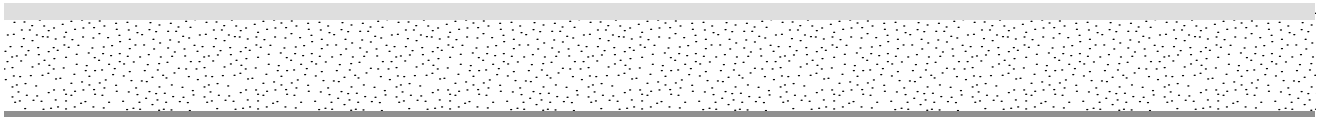
<p>周囲温度は0～40℃の範囲内でご使用ください。</p>	<p>長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>
<p>本機を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合はよく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。</p>	<p>静止画像等、同じ絵がらを長時間連続で表示しないでください。画像が焼きつき残像として残る場合があります。</p>

使用方法

<p>電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に</p>	<p>本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。</p>
<p>電源プラグは、根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。</p>	

電池

<p>指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、<u>火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。</u></p>	<p>電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。電池の破裂、液もれにより、<u>火災やけがの原因となることがあります。</u></p>
<p>電池をリモコン内にセットする場合、プラス（+）とマイナス（-）の極性表示に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、<u>火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。</u></p>	<p>長時間使用しない時は、リモコンから電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。</p>



このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
 この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、「安全上のご注意」は必ずお読みください。
 なお、「取扱説明書」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

もくじ

安全上のご注意 i

はじめに 2

本書の使いかた 2
 付属品 3

各部の名称と機能 4

本体 4
 リモコン 5
 接続パネル 6

設置と接続 8

本体の設置 8
 本機の入力端子について 9
 INPUT1とINPUT2への接続 9
 INPUT3への接続 13
 INPUT4への接続 13
 ハイビジョン用MUSEデコーダおよび
 デジタル放送チューナーの接続について 13
 オーディオ機器との接続 14
 コントロール接続 15
 電源コードの接続 16
 接続ケーブルの処理 17

システムの設定 18

接続後の設定 18

操 作 20

入力ソースを選ぶ 20
 画面サイズの切り換え 22
 画面を部分的に拡大する (POINT ZOOM) 23
 電源を自動的に切る 24

画面の調整 25

画質を調整する 25
 画面の位置やクロックを調整する<自動調整> ... 26
 画面の位置やクロックを調整する<手動調整> ... 26

その他の機能 28

入力表示を書き換える (INPUT LABEL) 28
 色温度を変更する (COLOR TEMP) 29
 映像のノイズ感を低減する (DIGITAL NR) 29
 ピュアシネマを設定する 30
 動きの早い映像を見る (3D Y/C MODE) ... 30
 明るい場所に設置するときは
 (HIGH CONTRAST) 31
 パワーコントロール機能 31
 自動で入力を切り換える
 (AUTO FUNCTION) 32
 オーディオ出力について (AUDIO OUT) 32

その他 33

お手入れについて 33
 故障かな?と思ったら 33
 仕 様 36
 付録1 37
 付録2 38
 付録3 38
 用語解説 39
 保証とアフターサービスについて 40

はじめに

本書の使いかた

本書は、本機を設置される方にわかりやすいよう作業と操作の順で説明しています。

本機を外箱から出し、付属品をすべて確認したあとは、4ページの「各部の名称と機能」の章をご覧ください。本書の説明文ではボタンの名称が多く使われますので、事前にプラズマディスプレイ本体とリモコンについて概略をご確認ください。

8ページの「設置と接続」の章では、プラズマディスプレイの設置とさまざまな機器との接続方法について、必要な情報が書かれています。

18ページの「システムの設定」の章では、接続した機器に合わせてプラズマディスプレイが正しく動作するために必要な設定を、画面上で行います。機器の接続方法によっては、この章は不要になる場合があります。

20ページからは、入力選択のような基本的な動作から、特定の機器や好みに合わせた映像の調整方法などの踏み込んだ手順まで、さまざまな操作方法を説明します。

本書の操作について

各操作は、番号順に手順が説明されています。文中では、本体側にしかないものを除きすべてリモコンのボタンを使用しています。本体側にリモコンと同じかまたは類似の名称のボタンがあれば、同じように操作ができます。

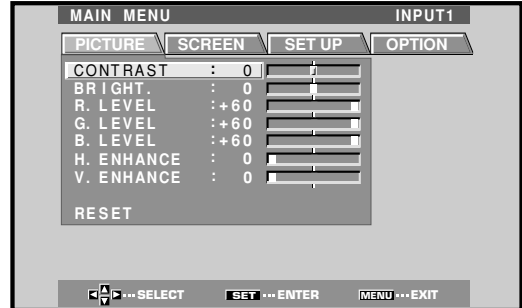
ご注意

本書に記載されている画面は、基本的な表示例です。画面の表示項目や表示内容は、入力ソースや各種の設定状態により変わります。

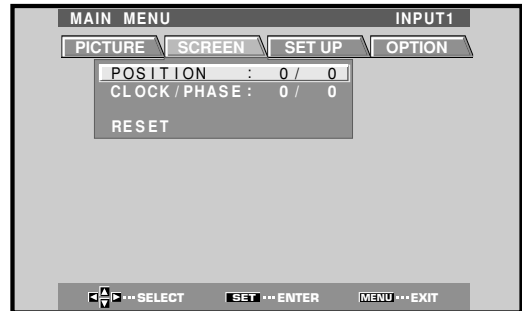
(この操作例の画面は、INPUT1にパソコン信号入力した場合に表示されるもので、条件が変わってビデオ信号入力の場合はメニュー画面に表示される「PICTURE」内の調整項目がこれと異なり、また「SCREEN」の項が表示されません。)

以下は、「画面の水平・垂直方向の位置を調整する場合」の、実際の操作説明です。各手順の画面の例で、正しく操作したか確認できるようになっています。本書を読み進める前に慣れておいてください。

1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「▶」ボタンを押して「SCREEN」を選ぶ



3 「▲/▼」ボタンを押して、調整する項目を選ぶ



4 「SET」ボタンを押して、選んだ項目の調整画面にする

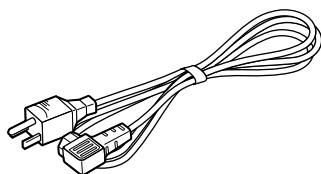


5 「▲/▼/◀/▶」ボタンで、調整する

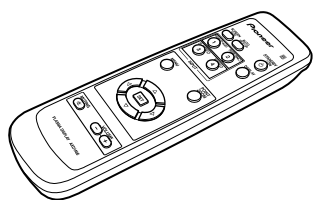
付属品

以下の付属品をお確かめください。

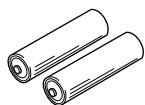
① 電源コード



② リモコン



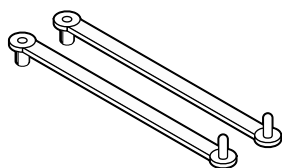
③ 単3形乾電池2個



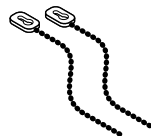
④ ワイピングクロス(画面用)



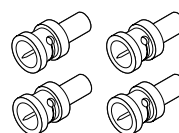
⑤ スピードクランプ2個



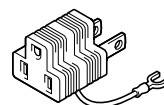
⑥ ビーズバンド2個



⑦ BNC/ピン変換アダプター4個



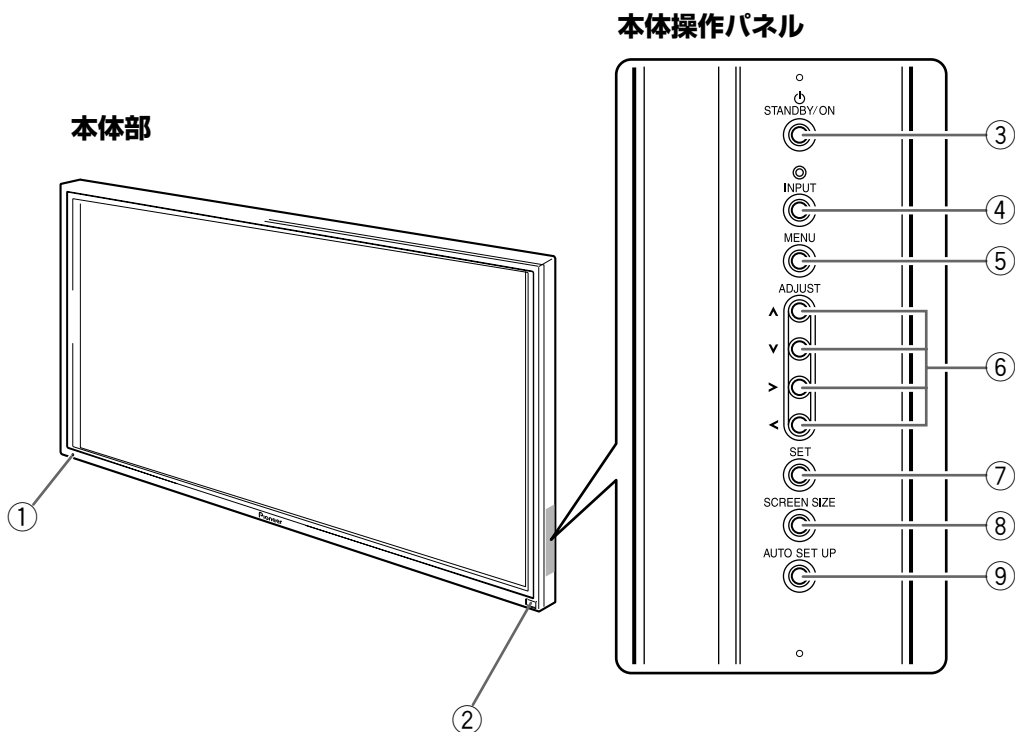
⑧ 3→2ピン電源変換プラグ



- 取扱説明書
- 保証書
- ご相談窓口・修理窓口のご案内

各部の名称と機能

本体



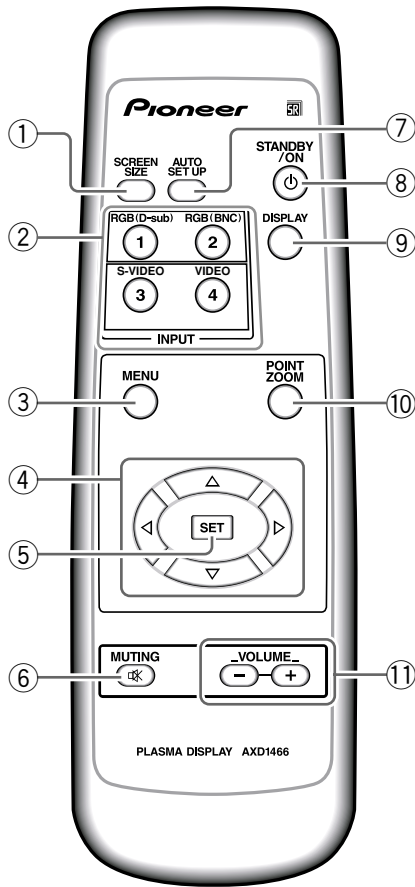
本体部

- ① **STANDBY/ONインジケータ**
スタンバイ状態では赤に点灯し、動作状態になると緑に変わります。(20ページ)
パワーマネジメント機能が働いているときは緑が点滅します。(24ページ)
また、点滅によって本機の異常をお知らせすることもあります。(35ページ)
- ② **リモコン受光部**
リモコンをここに向けて操作してください。(6ページ)

本体操作パネル

- ③ **STANDBY/ONボタン**
電源の入/切(スタンバイ)をします。(20ページ)
- ④ **INPUTボタン**
入力の切り換えに使います。(20ページ)
- ⑤ **MENU(メニュー)ボタン**
メニュー画面を表示します。(18~32ページ)
- ⑥ **ADJUST(▲▼▶◀)ボタン**
メニュー画面内でカーソルを動かしたり、各項目の調整に使います。
使い方は画面上に表示されます。(18~32ページ)
- ⑦ **SET(選択)ボタン**
メニュー画面で調整項目の決定、各種設定の変更に使います。(18~32ページ)
- ⑧ **SCREEN SIZEボタン**
画面サイズを切り換えるときに使います。(22ページ)
- ⑨ **AUTO SET UPボタン**
パソコン信号入力時、「POSITION」、「CLOCK/PHASE」を自動で適性な値に設定します。(26ページ)

リモコン

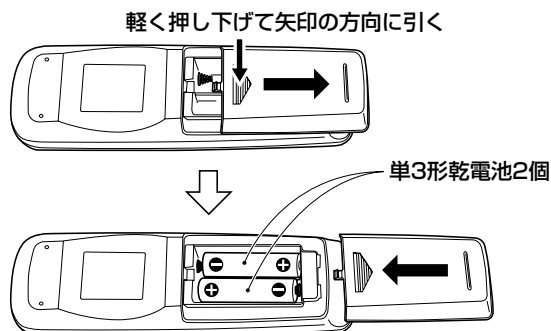


- ① **SCREEN SIZEボタン**
画面サイズを切り換えるときに使います。(22ページ)
- ② **INPUTボタン**
入力の切り換えに使います。(20ページ)
- ③ **MENU(メニュー)ボタン**
メニュー画面を表示します。(18～32ページ)
- ④ **ADJUST(▲▼▶◀)ボタン**
メニュー画面内でカーソルを動かしたり、各項目の調整に使います。使い方は画面上に表示されます。(18～32ページ)
- ⑤ **SET(選択)ボタン**
メニュー画面で調整項目の決定、各種設定の変更に使います。(18～33ページ)
- ⑥ **MUTING(消音)ボタン**
音を一時的に消したいときに使います。(21ページ)
- ⑦ **AUTO SET UPボタン**
パソコン信号入力時、「POSITION」、「CLOCK/PHASE」を自動で適性な値に設定します。(26ページ)
- ⑧ **STANDBY/ONボタン**
電源の入/切(スタンバイ)をします。(20ページ)
- ⑨ **DISPLAY(画面表示)ボタン**
現在の状態を見るときに使います。(21ページ)
- ⑩ **POINT ZOOMボタン**
画面の一部を拡大して見るときに使います。(23ページ)
- ⑪ **VOLUME(+/-)ボタン**
音量を調整します。(21ページ)

リモコンの取り扱いについて

- リモコンは落としたり濡らしたりしないでください。
- 直射日光または暖房の放射熱の当たるところ、湿気の多いところでは使用しないでください。
- 電池が消耗すると、動作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい電池に交換してください。

リモコンに電池を入れる

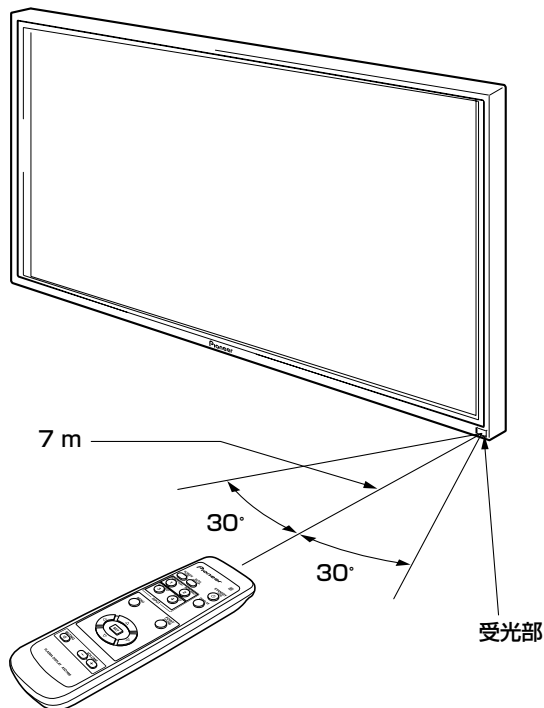


⚠ 注意

- 電池のプラス(+)とマイナス(-)の向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間(1ヵ月以上)使用しないときは、電池の液漏れを防ぐためにリモコンから電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。
- 付属の電池を充電、ショート、分解したり火中に投入したりしないでください。
- 不要となった電池を廃棄する際は、各地方自治体の指示(条例)に従って処理をしてください。

リモコンで操作できる範囲

リモコンは、本体前面の受光部(☉)に向けて操作してください。操作できる範囲は受光部から7 m、上下左右に30度以内です。



リモコンで操作しにくいとき

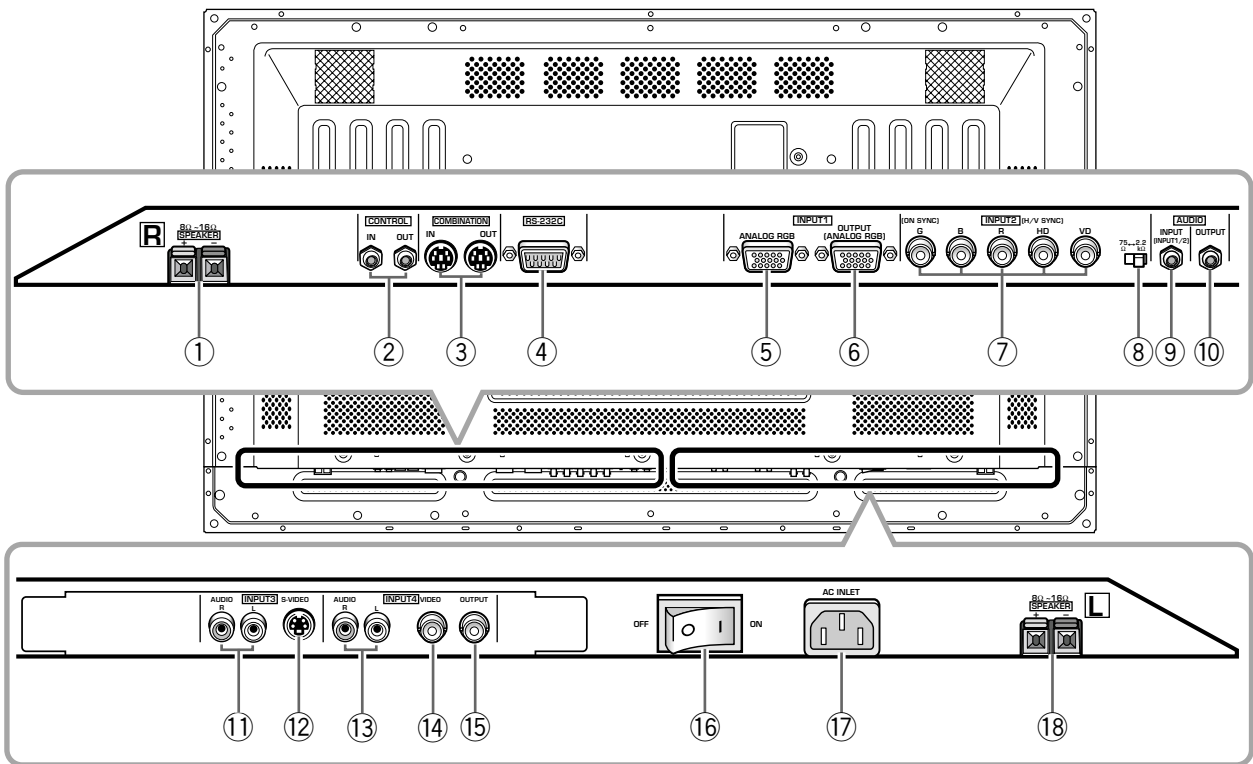
- リモコンと本機の間には障害物があると、操作できないことがあります。
- 電池が消耗した場合は、操作できる距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい電池に交換してください。
- 本機は画面から微弱な赤外線を放出しています。近くにビデオ等の赤外線リモコンによって操作する機器を設置すると、その機器がリモコンを受け付けにくくなったり、受けなくなる場合があります。そのような場合は本機から離して設置してください。
- 設置環境によっては、プラズマディスプレイから放出される赤外線の影響によって本機のリモコンが受け付けにくくなったり、リモコンで操作できる距離が短くなることがあります。画面から放出される赤外線の強さは、表示される絵がらによって変わります。

接続パネル

本機には4つの映像入力端子と2つの映像出力端子があります。また、音声入出力端子やスピーカー出力端子、☉マークのついたパイオニア製の機器との接続用にCONTROL端子も備えています。

それぞれの接続方法は、()内のページをご覧ください。

- ① **SPEAKER (R)**
右側用外部スピーカー出力端子です。
インピーダンスが8~16Ωのスピーカーを接続します。
(14ページ)
- ② **CONTROL IN/OUT(モノラルミニジャック)**
☉マークのついたパイオニア製品との接続用です。
CONTROL接続を行うと、本機のシステムコントロールが可能になります。(15ページ)
- ③ **COMBINATION IN/OUT**
これらの端子には何も接続しないでください。
工場調整用の端子です。
- ④ **RS-232C端子**
この端子には何も接続しないでください。
工場調整用の端子です。
- ⑤ **INPUT1(ミニD-sub 15ピン)**
パソコンやRGBデコーダなどのRGB出力、またはDVDプレーヤーなどのコンポーネント出力を持つ機器を接続します。接続した機器の信号出力方式と接続方法が正しく行われているか確認してください。(9~12ページ)
- ⑥ **OUTPUT (INPUT 1)(ミニD-sub 15ピン)**
外部モニターなどの機器に出力するときに使います。
注：主電源(MAIN POWER)「OFF」時またはスタンバイ時は、OUTPUT (INPUT 1)端子から映像信号は出力されません。(11ページ)
- ⑦ **INPUT2(BNC端子)**
パソコンやRGBデコーダなどのRGB出力、またはDVDプレーヤーなどのコンポーネント出力を持つ機器を接続します。接続した機器の信号出力方式と接続方法が正しく行われているか確認してください。(9~12ページ)
- ⑧ **同期信号インピーダンス切り換えスイッチ**
INPUT2への接続方法によっては、接続した機器の同期信号の出カインピーダンスに合わせて、このスイッチを切り換える必要があります。
接続した機器の同期信号の出カインピーダンスが75Ω以下のときは、このスイッチを75Ωに設定してください。(10~12ページ)



⑨ AUDIO INPUT (ステレオミニジャック)

入力(映像)がINPUT1またはINPUT2のときの音声入力です。
本機のINPUT1またはINPUT2に接続した機器の音声出力端子と接続します。(14ページ)

⑩ AUDIO OUTPUT (ステレオミニジャック)

本機に接続した機器の音声を AV アンプなどの機器に出力するときに使います。(14ページ)

⑪ AUDIO INPUT3 (RCAピンジャック)

入力(映像)がINPUT3のときの音声入力です。
本機のINPUT3に接続した機器の音声出力端子と接続します。(14ページ)
注：Lモノ*には対応していません。

⑫ INPUT3 (Sビデオ端子)

ビデオデッキ、ビデオカメラ、レーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどの、S映像出力を持つ機器を接続します。(13ページ)

⑬ AUDIO INPUT4 (RCAピンジャック)

入力(映像)がINPUT4のときの音声入力です。
本機のINPUT4に接続した機器の音声出力端子と接続します。(15ページ)
注：Lモノ*には対応していません。

⑭ INPUT4 (BNC端子)

ビデオデッキ、ビデオカメラ、レーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどの、コンポジット映像出力を持つ機器を接続します。(13ページ)

⑮ OUTPUT (INPUT 4) (BNC端子)

外部モニターなどの機器に出力するときに使います。
注：主電源(MAIN POWER)「OFF」時またはスタンバイ時は、OUTPUT (INPUT 4)端子から映像信号は出力されません。(13ページ)

⑯ MAIN POWER スイッチ

本機の主電源の入/切をします。

⑰ AC INLET

付属の電源コードを使用して、AC電源に接続します。(16ページ)

⑱ SPEAKER (L)

左側用外部スピーカー出力端子です。
インピーダンスが8~16Ωのスピーカーを接続します。(14ページ)

* Lモノとは、音声入力をLのみに接続するとLとRの両方から出力される機能です(本機にはこの機能はありません)。

設置と接続

本体の設置

別売のパイオニア製スタンドまたはブラケットを使った設置

- 本体やブラケットの設置や取り付けは、お買い上げの取扱店にご依頼ください。
- 設置には必ず個々に付属のボルトをお使いください。
- 設置に関する詳細は、個々に付属の説明書をご覧ください。

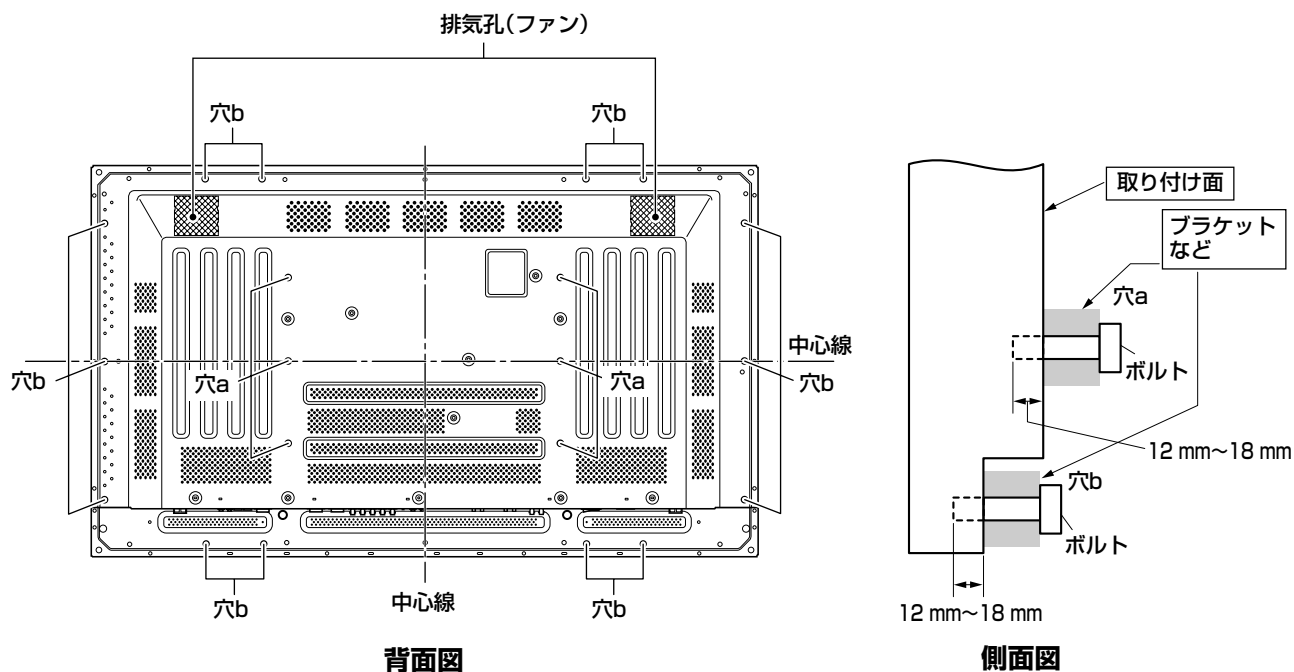
パイオニア製スタンドまたはブラケット(別売)以外を使った設置

- できるだけパイオニア製の部品や付属品をお使いください。他社製の部品や付属品を使っての設置による事故や故障に対しては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 注文設置をご希望の場合は、お買い上げの取扱店にご相談ください。

壁面への取り付け

本機は壁面への取り付けなどに対応できるようにボルト穴が施してあります。取り付けに使用するボルト穴は下図のとおりです。

- 中心線の左と右、上と下の少なくとも4カ所以上で固定してください。
- 取り付けに使うボルトは、穴a 穴b とも取り付け面から本体までの深さが 12 ~ 18 mmを満たす長さが必要です。(下図の“側面図”を参照してください。)
- 本体にはガラスが使われていますので、凹凸やゆがみのない平面に取り付けてください。



⚠ 注意

本体の故障や加熱、火災の危険を防ぐため、設置の際は本体の通気孔をふさがないようにしてください。また、排気孔からは温風が出ますので、背面側の壁などの損傷やほこりの蓄積には十分ご注意ください。

⚠ 注意

ボルトはかならず M8 (P=1.25 mm) を使用してください。(これ以外は使用できません。)

⚠ 注意

本機は、約40kgの重さに対し奥行きがわずかで安定しにくいので、梱包、移動、設置の際は、二人以上で行ってください。

⚠ 注意

本機は薄型に設計されています。振動時の安全のため、倒れないよう十分な対策を講じてください。

● オプション(別売)

(詳しくはお買い求めの取扱店にお問い合わせください。)

- 1 テーブルトップスタンド: PDP-503PROのディスプレイスタンドです。
- 2 壁面設置用ユニット: 壁面に本機を取り付けるための壁面設置用ブラケットです。

本機の入力端子について

下の表にしたがって機器の出力端子を本機の入力端子に接続します。

(9～15ページ)

本機の入力端子		INPUT 1*1	INPUT 2*1	INPUT 3	INPUT 4
接続する機器と信号					
AV機器	アナログRGB	○	○		
	コンポーネント映像	○	○		
	S映像			○	
	コンポジット映像				○
パソコン	アナログRGB	○*2	○		
	S映像			○*3	
	コンポジット映像				○*3

*1 INPUT 1/2は様々な種類の信号に対応していますが、接続した後は、それぞれの機器に合わせて画面上の設定(18～19ページ)を行ってください。

*2 INPUT 1 はマイクロソフト社のPlug & Play (VESA DDC 1/2B)に対応しています。

*3 お使いのモニター出力ボードの種類によっては、出力できないことがあります。

INPUT 1とINPUT 2への接続

INPUT 1とINPUT 2は様々な機器が接続できます。接続の後には、それぞれの機器に合わせて画面上の設定を行ってください。接続後の設定については18～19ページをご覧ください。

INPUT 2端子	[ON SYNC]	G	B	R	[H/V SYNC]	HD	VD
RGB出力を持つビデオ機器 パソコン(PC)	G ON SYNC	○	○	○	×	×	×
		○	○	○	○	×	×
		○	○	○	○	○	○
コンポーネント映像出力を持つ映像機器	Y	○	○	○	×	×	×

×：何も接続しないでください。○：ここに接続してください。

お知らせ

INPUT 1およびINPUT 2で対応している機器は同一です。INPUT 1に接続の際は、38ページ付録3を参照してください。

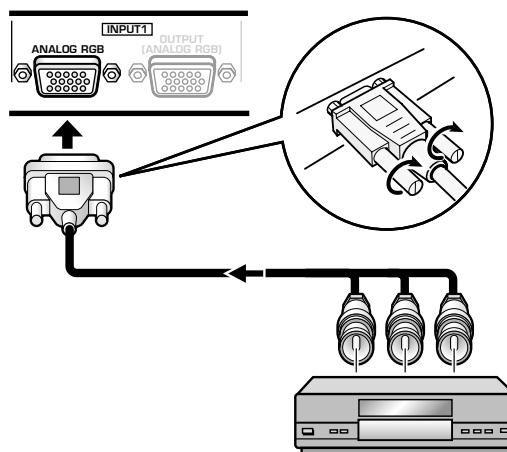
INPUT 1、2で対応している信号および表示画面サイズについては付録1(37ページ)および付録2(38ページ)を参照してください。

AV機器との接続

コンポーネント映像端子を持つAV機器の接続

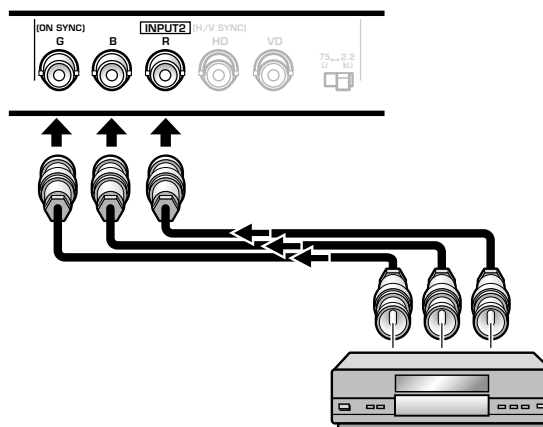
コンポーネント映像出力を持つAV機器を、コンポーネント映像接続します。

INPUT 1へ接続する場合



接続の後は、画面上の設定が必要です。18ページをご覧ください。

INPUT 2へ接続する場合



Y信号をG端子、Cb/Pb信号をB端子、Cr/Pr信号をR端子に接続してください。

接続の後は、画面上の設定が必要です。18ページをご覧ください。

INPUT 2 はすべてBNC端子です。

接続の際は、必要に応じて、BNC/ピン変換アダプターをお使いください(4個付属しています)。

安全上のご注意

はじめに

各部の名称と機能

設置と接続

システムの設定

操作

画面の調整

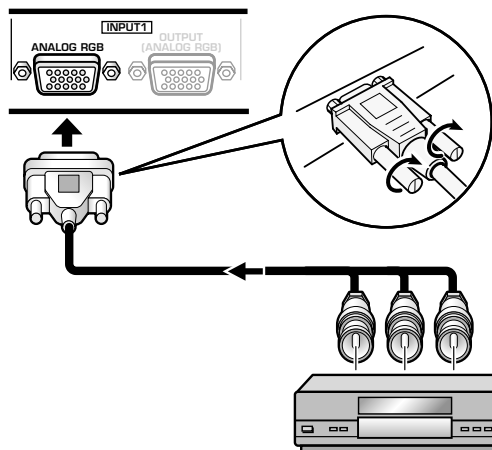
その他の機能

その他

G ON SYNCアナログRGB機器の接続

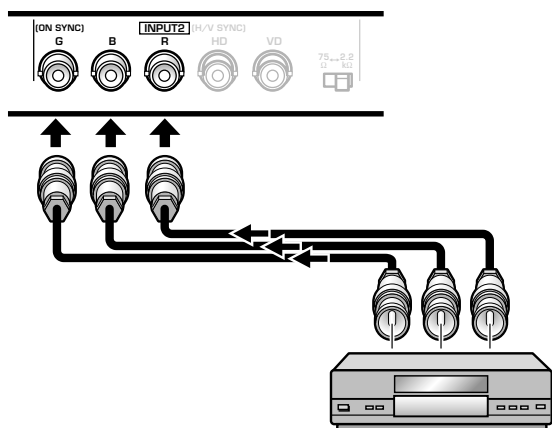
緑信号に同期信号が組み合わされた出力を持つAV機器を、G ON SYNC接続します。

INPUT1へ接続する場合



接続の後は、画面上の設定が必要です。
18～19ページをご覧ください。

INPUT2へ接続する場合



接続の後は、画面上の設定が必要です。
18～19ページをご覧ください。

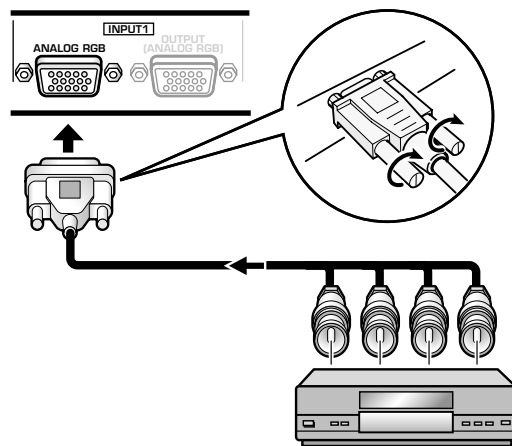
ご注意

- G ON SYNC接続を行った場合は、VD端子やHD端子には何も接続しないでください。接続すると画面が正常に表示されない場合があります。

コンポジットSYNCアナログRGB機器の接続

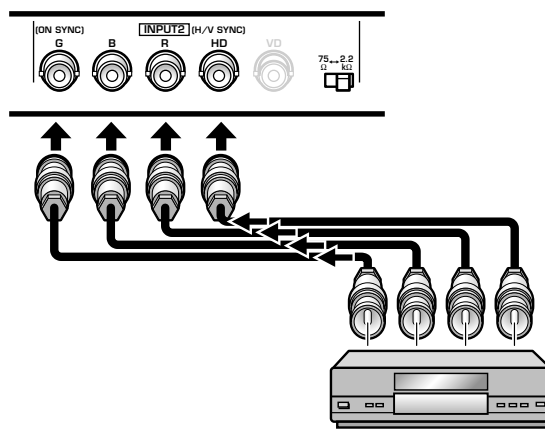
水平同期信号と垂直同期信号が組み合わされた出力を持つ機器を、コンポジットSYNC接続します。

INPUT1へ接続する場合



接続の後は、画面上の設定が必要です。
18～19ページをご覧ください。

INPUT2へ接続する場合



INPUT2入力を使うときは、接続した機器の同期信号の出力インピーダンスに合わせてインピーダンス切り換えスイッチを設定してください。
接続した機器の同期信号の出力インピーダンスが75Ω以下のときは、切り換えスイッチを75Ωに設定してください。

接続の後は、画面上の設定が必要です。
18～19ページをご覧ください。

ご注意

- コンポジットSYNC接続を行った場合は、VD端子には何も接続しないでください。接続すると画面が正常に表示されなくなる場合があります。

パソコンとの接続

パソコンの種類によって接続方法が異なります。接続の際は、お使いのパソコンの取扱説明書をよくお読みください。

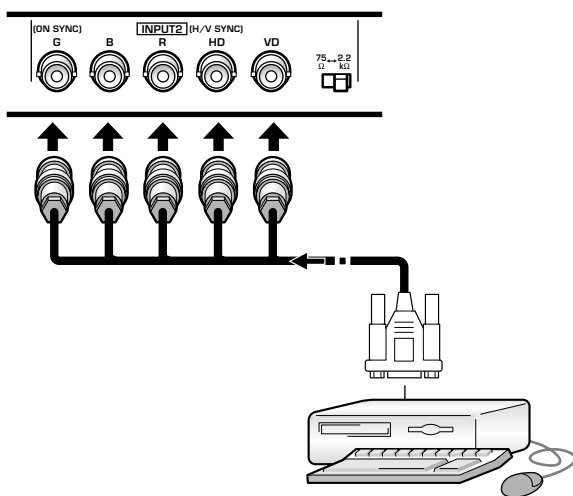
接続する前に、パソコンと本機の主電源が切れていることを確認してください。

本機で対応しているパソコン信号および表示画面サイズは、付録1(37ページ)を参照してください。

セパレートSYNCアナログ RGB機器の接続

赤、緑、青、水平同期、垂直同期の5つの信号に分離したRGB出力を持つ機器を、セパレートSYNC接続します。

INPUT2へ接続する場合

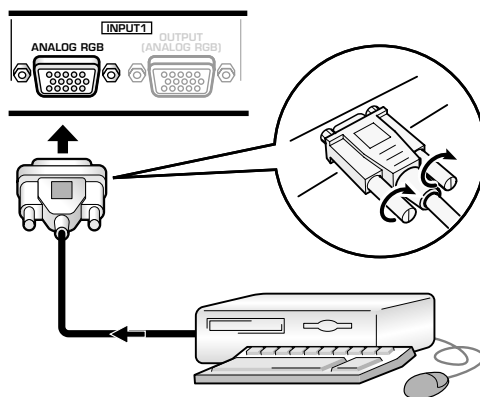


INPUT2入力を使うときは、接続した機器の同期信号の出力インピーダンスに合わせてインピーダンス切り換えスイッチを設定してください。

接続した機器の同期信号の出力インピーダンスが75Ω以下のときは、切り換えスイッチを75Ωに設定してください。

接続の後は、画面上の設定が必要です。18～19ページをご覧ください。

INPUT1へ接続する場合



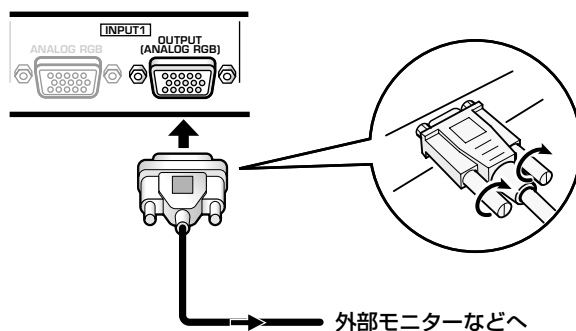
本機の入力端子とパソコンの出力端子の形状に合ったケーブルをお使いください。またねじでしっかりとそれぞれの端子に固定してください。

接続の後は、画面上の設定が必要です。18～19ページをご覧ください。

ご注意

接続するパソコンの種類によっては、パソコンに付属または別売の変換コネクターやアダプターが必要になる場合があります。詳しくはお使いのパソコンに付属の取扱説明書をお読みになるか、パソコンの製造元または取扱店にお尋ねください。

OUTPUT (INPUT 1) へ接続する場合



OUTPUT (INPUT 1)端子は、モニターなど映像入力が必要な機器との接続に使います。

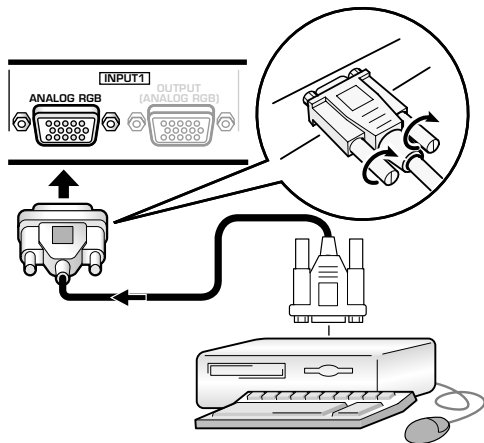
ご注意

主電源 (MAIN POWER) 「OFF」時またはスタンバイ時は、OUTPUT (INPUT 1)端子から映像信号は出力されません。

G ON SYNCアナログRGB機器の接続

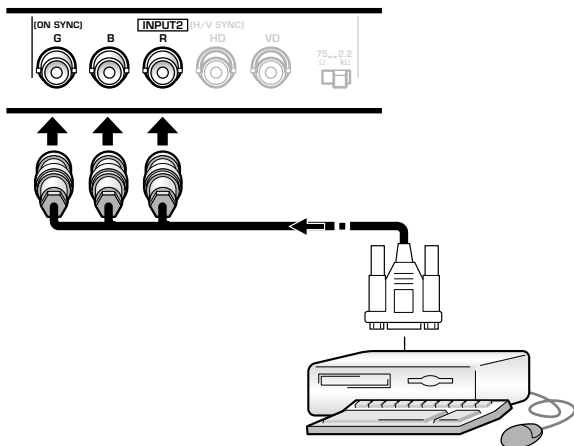
緑信号に同期信号が組み合わされた出力を持つパソコンを、G ON SYNC接続します。

INPUT1へ接続する場合



接続の後は、画面上の設定が必要です。
18～19ページをご覧ください。

INPUT2へ接続する場合



接続の後は、画面上の設定が必要です。
18～19ページをご覧ください。

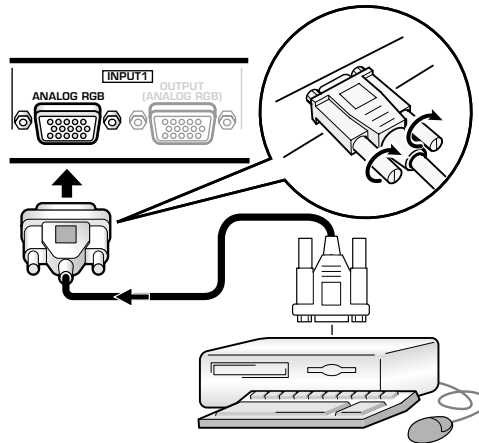
ご注意

- G ON SYNC接続を行った場合は、VD端子やHD端子には何も接続しないでください。接続すると画面が正常に表示されない場合があります。

コンポジットSYNCアナログRGB機器の接続

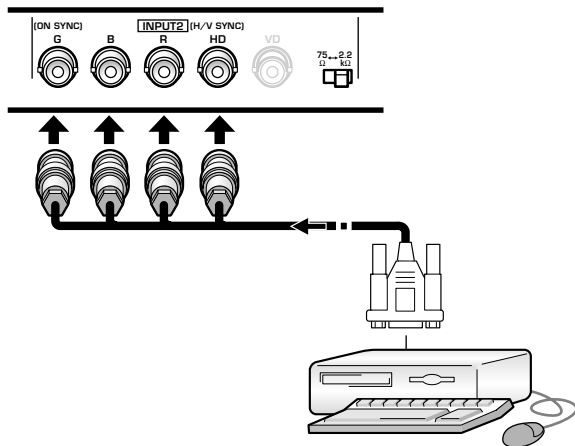
水平同期信号と垂直同期信号が組み合わされた出力を持つパソコンを、コンポジットSYNC接続します。

INPUT1へ接続する場合



接続の後は、画面上の設定が必要です。
18～19ページをご覧ください。

INPUT2へ接続する場合



INPUT2入力を使うときは、接続した機器の同期信号の出力インピーダンスに合わせてインピーダンス切り換えスイッチを設定してください。

接続した機器の同期信号の出力インピーダンスが75Ω以下のときは、切り換えスイッチを75Ωに設定してください。

接続の後は、画面上の設定が必要です。

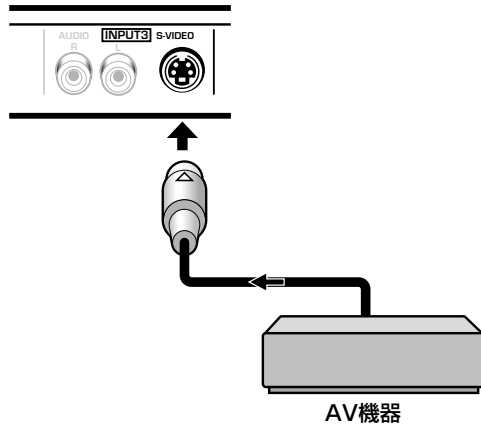
18～19ページをご覧ください。

ご注意

- コンポジットSYNC接続を行った場合は、VD端子には何も接続しないでください。接続すると画面が正常に表示されなくなる場合があります。
- Apple Computer社の一部の機種では、G ON SYNCとコンポジットSYNCの両方の出力を持つものがあります。これらの機種についてはG ON SYNC接続(前項)を行ってください。

INPUT3への接続

S映像出力を持つAV機器を、本機のS-VIDEO端子に接続します。

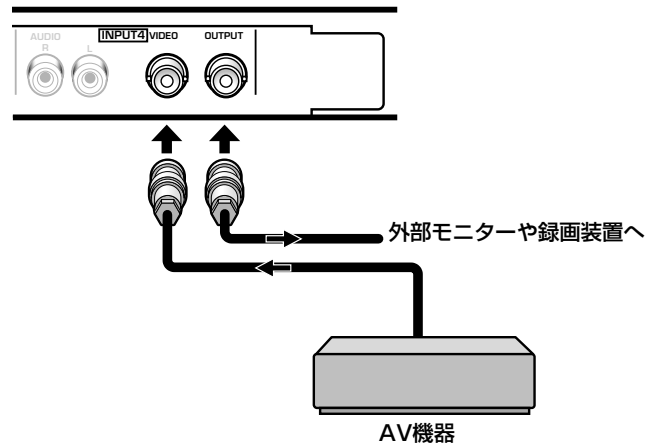


INPUT4への接続

映像出力を持つAV機器を、本機のINPUT4に接続します。OUTPUT (INPUT4)端子は、モニターや録画装置など映像入力が可能な機器との接続に使います。接続の際には必要に応じてBNC/ピン変換アダプターをお使いください。

ご注意

主電源“切”時またはスタンバイ時は、OUTPUT (INPUT4)端子から映像信号は出力されません。



ハイビジョン用MUSEデコーダおよびデジタル放送*チューナーの接続について

正しく接続するために、ハイビジョン用MUSEデコーダ、BS/CSデジタルチューナーに付属の取扱説明書を十分にお読みください。

本機が対応している信号は下の表のとおりです。

信号の種類	信号フォーマット	信号方式	接続可能な端子				
			INPUT1	INPUT2	INPUT3	INPUT4	
(アナログ) ハイビジョン	水平：33.75kHz 垂直：60Hz	コンポーネント	○	○			
		RGB	○	○			
デジタル放送	HDTV	1125i (1080i) 1125p (1080p)	○	○			
		1125i (1035i) 750p (720p)	○	○			
		コンポーネント					
		RGB					
	SDTV	525i (480i)	コンポジット				○
			S映像			○	
			コンポーネント	○	○		
			RGB	○	○		
525p (480p)	コンポーネント	○	○				
	RGB	○	○				

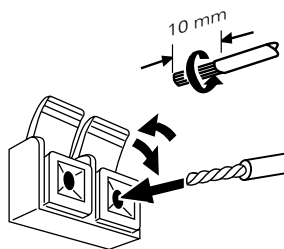
* 2001年7月現在、地上波のデジタル放送は行われておりません。

オーディオ機器との接続

接続する前に、電源が切れていることを確認してください。

スピーカーと接続する

本機は2W+2Wのアンプを内蔵しています。このアンプにスピーカーを接続する場合は、以下の接続方法を参照してください。



むき出しにしたケーブルをねじります。

タブを押し上げ、ケーブルを差し込みます。
タブを押し下げ、ケーブルが抜けないようにします。

ご注意

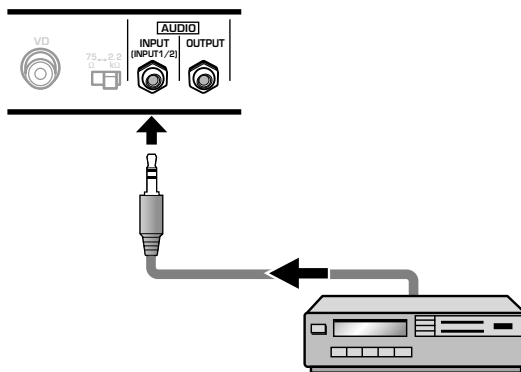
スピーカーを接続するときは、スピーカー側の端子と本機のスピーカー端子のプラス(+)とマイナス(-)を合わせてください。プラス(+)とマイナス(-)が合っていないと適正な音として聞こえません。

本機の音声入力端子に接続する

本機には3つの音声入力端子と1つの音声出力端子があります。下の表は映像入力に対するそれぞれの音声入力接続を示しています。

映像入力	音声入力	音声出力
INPUT1	ステレオミニジャック(L/R)	選択した入力の音が ・スピーカー端子 ・ステレオミニジャック(L/R) から得られます。
INPUT2		
INPUT3	ピンジャック(L/R)	
INPUT4	ピンジャック(L/R)	

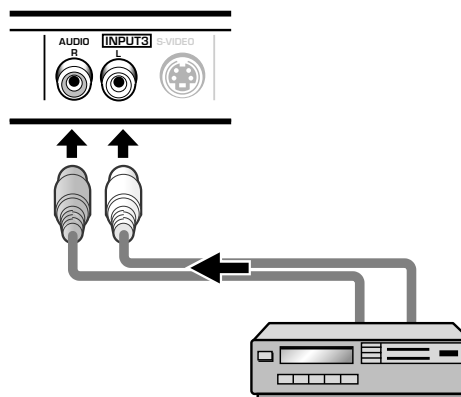
AV機器をINPUT1またはINPUT2に接続した場合の音声接続



INPUT1とINPUT2につなぐ機器の音声は、どちらか一方をAUDIO INPUT端子のステレオミニジャック(L/R)タイプにつなぐことができます。

音声出力は選んだ入力にしたがって、AUDIO OUTPUT端子(ステレオミニジャック(L/R))と、スピーカー端子から得られます。

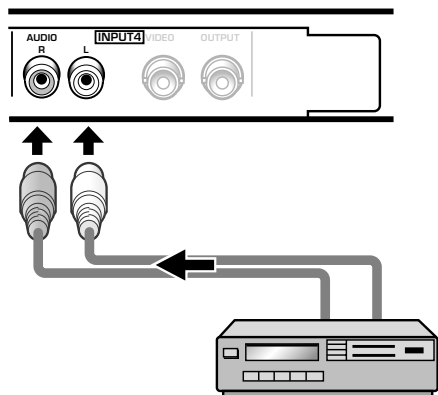
AV機器をINPUT3に接続した場合の音声接続



INPUT3につなぐ機器の音声は、AUDIO INPUT3端子のピンジャック(L/R)タイプにつなぐことができます。

音声出力は選んだ入力にしたがって、AUDIO OUTPUT端子(ステレオミニジャック(L/R))と、スピーカー端子から得られます。

AV機器をINPUT4に接続した場合の音声接続



INPUT4につなぐ機器の音声は、AUDIO INPUT4端子のピンジャック(L/R)タイプにつなぐことができます。

音声出力は選んだ入力にしたがって、AUDIO OUTPUT端子(ステレオミニジャック(L/R))と、スピーカー端子から得られます。

コントロール接続

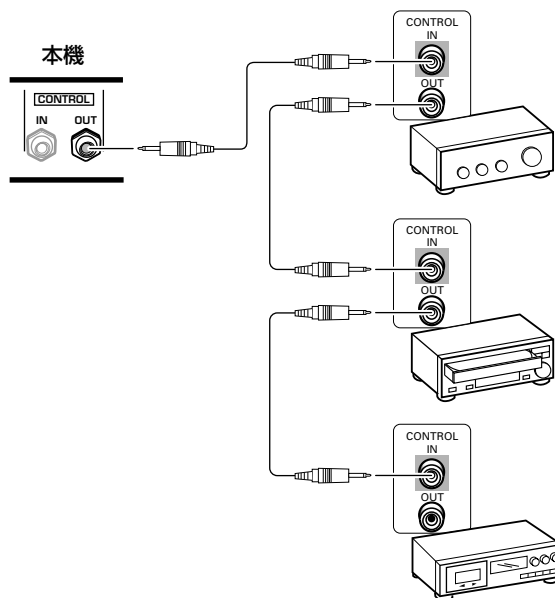
SRマークのあるパイオニア製の他の機器とコントロール接続すると、本機の受光部を通じてリモコンの操作ができるようになります。

CONTROL IN端子を接続した機器のリモコン受光部はリモコン信号を受けつけなくなります。

接続した他の機器のリモコンは、本機の受光部に向けて操作してください。

ご注意

- ・ 接続する前に、電源が切れていることを確認してください。
- ・ コントロール接続をする前に、他の機器の接続をすべて済ませてから行ってください。



接続するケーブルはモノラルのミニ/ミニケーブル(抵抗なし)です。

安全上のご注意

はじめに

各部の名称と機能

設置と接続

システムの設定

操作

画面の調整

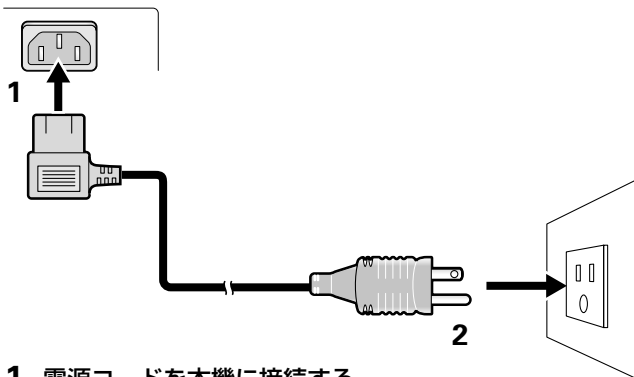
その他の機能

その他

電源コードの接続

機器の接続をすべて済ませた後で、最後に電源コードをつなぎます。

コンセントが3芯用のとき



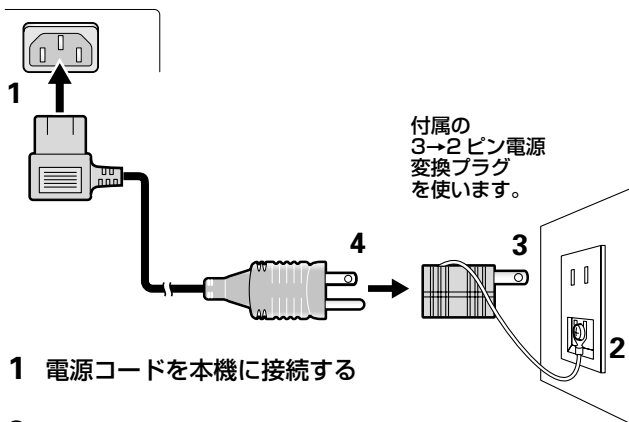
- 1 電源コードを本機に接続する
- 2 電源コードのプラグをコンセントに差し込む



注意

- ・電源コードは必ず付属のものをお使いください。
- ・指定(AC100V 50/60Hz)以外の電源電圧を使用しないでください。
- 火災や感電の原因となります。

コンセントがアース端子付き2芯用のとき



- 1 電源コードを本機に接続する
- 2 付属の3→2ピン電源変換プラグのアース線をコンセントのアース端子に接続する
- 3 3→2ピン電源変換プラグをコンセントに差し込む
- 4 電源コードのプラグを3→2ピン電源変換プラグに差し込む



注意

- ・電源コードおよび3→2ピン電源変換プラグは必ず付属のものをお使いください。
- ・アース端子のはさみ込みにご注意ください。
- ・指定(AC100V 50/60Hz)以外の電源電圧を使用しないでください。
- 火災や感電の原因となります。

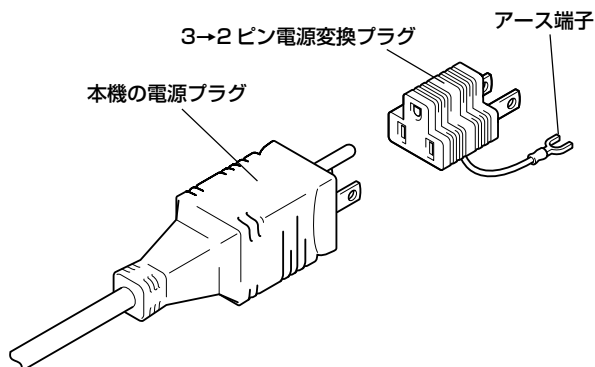
3→2ピン電源変換プラグ使用上のご注意

本機の電源プラグは3芯になっています。性能維持のため、機器のアースは接続してお使いください。



注意

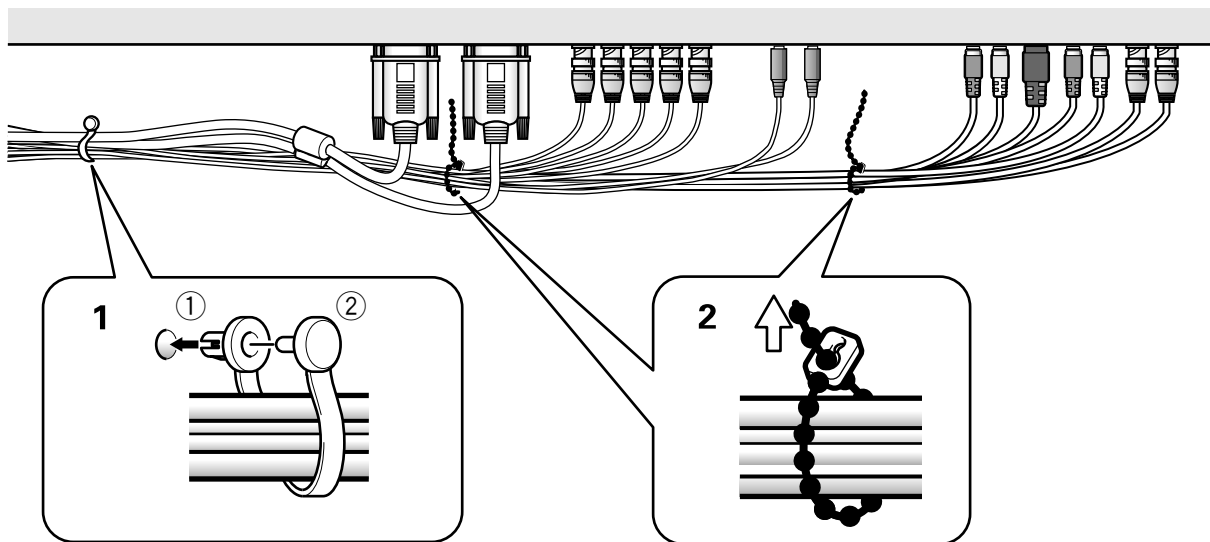
アース端子がある2芯コンセントの場合は付属の3→2ピン電源変換プラグを付けてお使いください。コンセントが2芯専用でアース端子がない場合は、アース工事が必要です。専門業者に工事をご依頼ください。また、コンセントが3芯用の場合は、そのままお使いください。



接続ケーブルの処理

本機には、ケーブルをまとめるためのスピードクランプ、ビーズバンドが付属しています。
すべての接続が終わったら、以下の手順でケーブルをまとめます。

* 本体を背面から見た図



1 スピードクランプを使ってケーブルを止める

① をリアケースの穴へ差し込んだ後、② を差し込みます。

スピードクランプは、一度留めると外れにくいいため注意して取り付けてください。

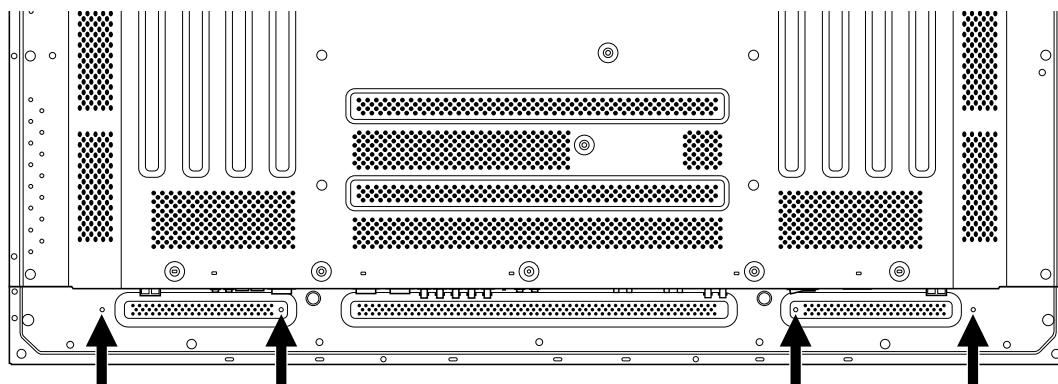
2 付属のビーズバンドでケーブルを束ねる

お知らせ

束ねたケーブルは左右どちらにもまとめられます。

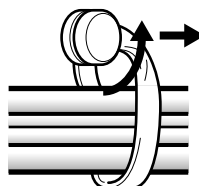
スピードクランプを本機に取り付けるには

●印の4つの穴を状況に応じて使ってください。



スピードクランプを外すには

ペンチでクランプを90度ねじり、外側へ引きます。
くり返しによって傷んでくると外すときに破損することがあります。



システムの設定

接続後の設定

INPUT1またはINPUT2の接続を行った後は、画面上での設定が必要です。

以下の手順にしたがって、接続した機器に合わせて設定を行ってください。

画面表示モード/入力信号方式の設定

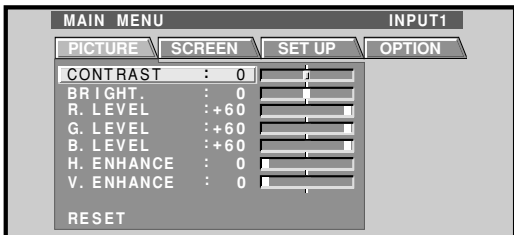
ご注意

- 画面表示モードの設定(操作6~7)は、①水平31.5kHz/垂直60Hzの信号入力時、②水平48.4kHz/垂直60Hzまたは水平56.5kHz/垂直70Hzの信号入力時のみ設定が必要です。その他の周波数の信号入力時は、自動設定のため設定する必要はありません。(SETTINGの項目は表示されません。)
- 入力信号方式の設定(操作8~9)は、ビデオ信号入力時のみ設定が必要です。パソコン信号入力時または画面表示モードで「VIDEO」以外を選んだときはできません。

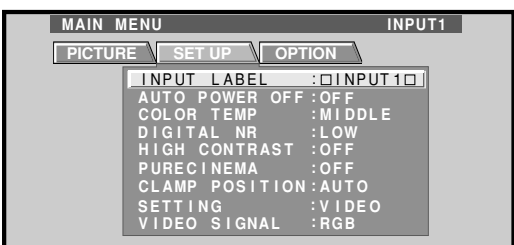
- 1 接続パネルの「MAIN POWER」スイッチを押して、本機の電源を入れる
STANDBY/ONインジケーターが赤に点灯します。
- 2 「STANDBY/ON」ボタンを押して、本機を動作状態にする
STANDBY/ONインジケーターが緑に変わります。
- 3 INPUT1またはINPUT2を選ぶ
- 4 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



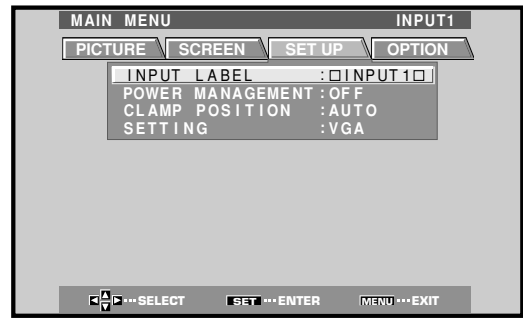
【パソコン信号入力時】



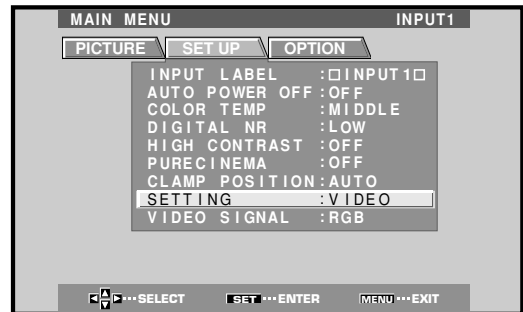
- 5 「◀/▶」ボタンを押して、「SET UP」を選ぶ



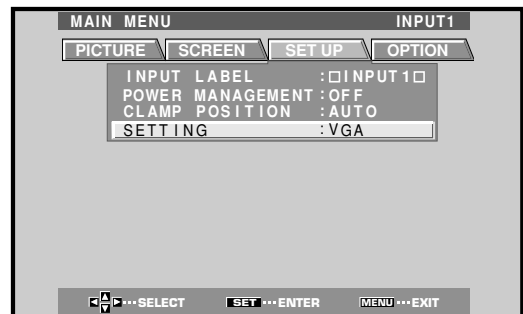
【パソコン信号入力時】



- 6 「▲/▼」ボタンを押して、「SETTING」を選び、「SET」ボタンを押す



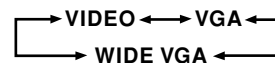
【パソコン信号入力時】



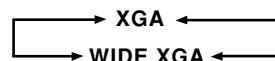
- 7 「◀/▶」ボタンを押して、表示モードを選ぶ
パソコン以外の機器を接続しているときは「VIDEO」を選びます。



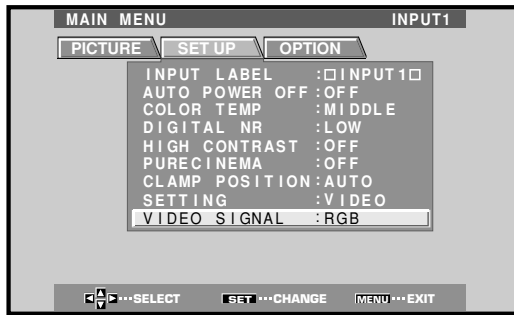
- ①入力信号が水平31.5kHz/垂直60Hzのときは「◀/▶」ボタンを押すたびに次のように切り換わります。



- ②入力信号が水平48.4kHz/垂直60Hzまたは水平56.5kHz/垂直70Hzのときは「◀/▶」ボタンを押すたびに次のように切り換わります。



- 8 ビデオ信号入力時(「VIDEO」を選んだとき)は「▲/▼」ボタンを押して、「VIDEO SIGNAL」を選ぶ



- 9 「SET」ボタンをくり返し押して、入力する信号方式を選ぶ

「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



以下の表で、接続に合った設定を確認してください。

「SETTING」、「VIDEO SIGNAL」の設定は以下のように行ってください。

接続した機器	SET UPの項目	SETTING	VIDEO SIGNAL
DVDプレーヤーなどのコンポーネント映像出力		VIDEO	COMPONENT
RGB出力端子付きのビデオデッキなどのRGB映像出力		VIDEO	RGB
パソコンのRGB映像出力		VGA WIDE VGA XGA WIDE XGA	設定できません

- 10 設定が終わったら、「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

- 接続後の設定は、各入力(INPUT1またはINPUT2)ごとに行ってください。

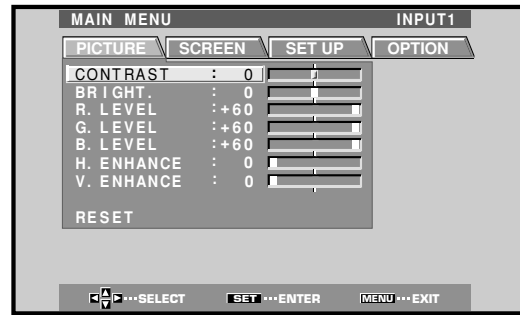
CLAMP POSITIONの設定

アナログRGB信号を入力する場合、信号によっては画面が白っぽくなったり、緑がかかることがあります。このような場合は「CLAMP POSITION」を「LOCKED」にしてください。

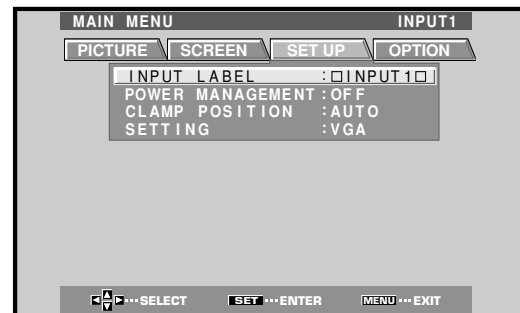
- 通常は「AUTO」に設定しておきます。

CLAMP POSITIONの設定をする

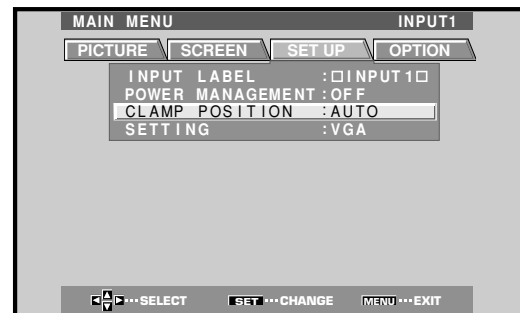
- 1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする
メニュー画面が表示されます。



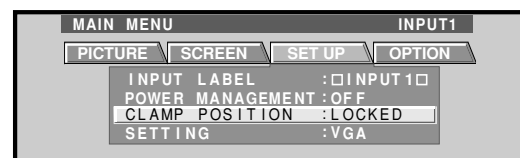
- 2 「◀/▶」ボタンを押して、「SET UP」を選ぶ



- 3 「▲/▼」ボタンを押して、「CLAMP POSITION」を選ぶ



- 4 「SET」ボタンを押して「LOCKED」を選ぶ



「SET」ボタンを押すたびに次のように変わります。



- 5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

- 「CLAMP POSITION」の設定は、各入力(INPUT1またはINPUT2)ごとに行ってください。
- この設定をする場合、お使いの機器の信号出力を十分に確認してください。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をよくお読みください。

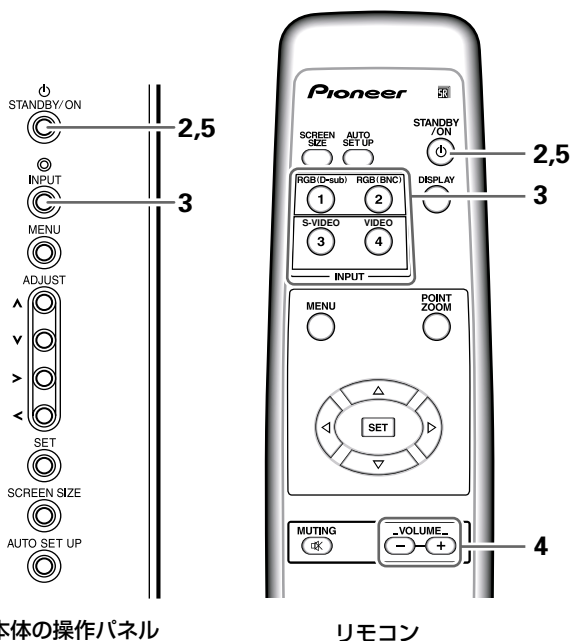
操 作

入力ソースを選ぶ

ここでは本機の基本的な操作方法を説明します。電源の入/切、動作状態とスタンバイ状態の切り換え、接続した機器の入力選択について記しています。

最初に確認してください

- 8ページからの「設置と接続」にしたがって、本機とAV機器またはパソコンとが正しく接続されていること。
- 18ページからの「システムの設定」にしたがって、INPUT1 または INPUT2 に接続した機器の入力信号に合わせて、画面上の設定が済ませてあること。これらの端子に何も接続していないときは画面上の設定は不要です。

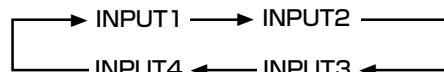


本体の操作パネル

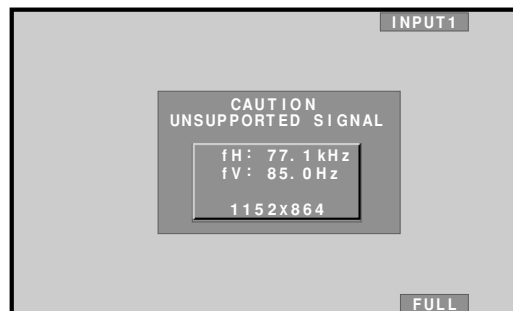
リモコン

- 1 本機の後面の「MAIN POWER」スイッチを押して、主電源を入れる
STANDBY/ONインジケーターが赤に点灯します。
- 2 「STANDBY/ON」ボタンを押して、本機を動作状態にする
STANDBY/ONインジケーターが緑に変わります。

- 3 リモコンの「INPUT」ボタン、または本体の「INPUT」ボタンを押して、入力を選ぶ
本体側の操作の場合、「INPUT」ボタンを押すたびに次のように入力が切り換わります。



- メニュー画面の表示中、入力の切り換え動作を行うとメニュー画面はオフされます。
- 本機に対応外のパソコン信号が入力されたときは以下の表示が画面に出ます。

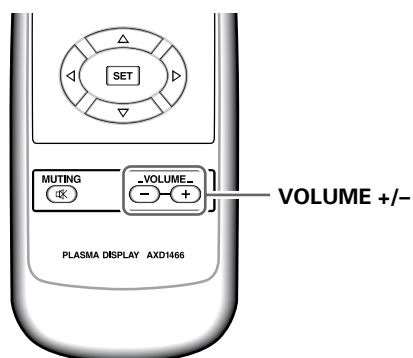


- 4 リモコンの「VOLUME (+/-)」ボタンで音量を調節する
音声を入力していないときは、この手順は不要です。
- 5 終了時は「STANDBY/ON」ボタンを押して、スタンバイ状態にする
STANDBY/ONインジケーターが点滅(赤)し、スタンバイ状態になると点灯(赤)に変わります。
STANDBY/ONインジケーターが点滅中(赤)は、操作できません。
- 6 本機の「MAIN POWER」スイッチを押して、主電源を切る
主電源を切ってもSTANDBY/ONインジケーターが点灯していることがありますが、これは回路に充電された電荷が若干残っているためで、しばらくすれば消えます。

ご注意

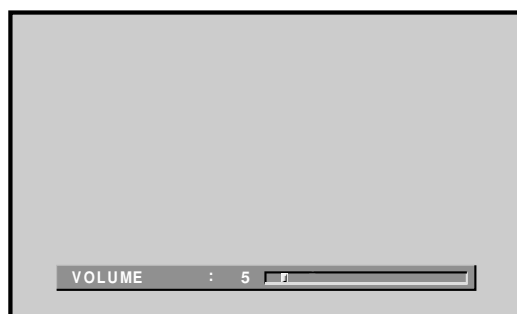
同じ映像を長い間表示しないでください。
画面にゴーストや残像などが現れる「焼き付き」という現象の原因となります。

音量を調整する

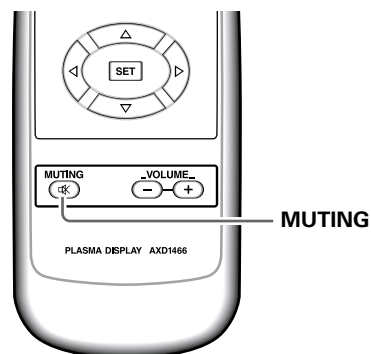


リモコンの「VOLUME」ボタンを押す

「VOLUME+」ボタンまたは「VOLUME-」ボタンを押して、スピーカーから出る音量を調整します。



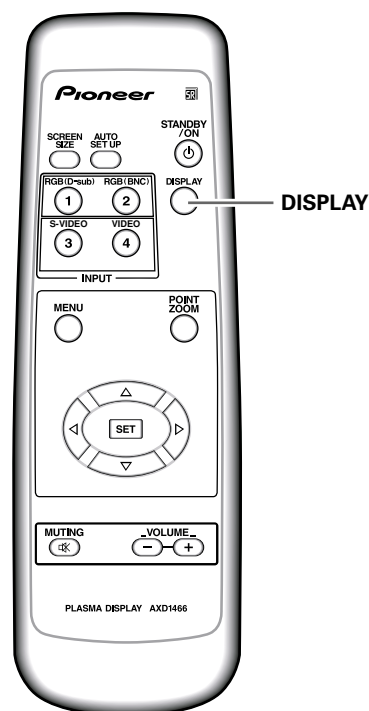
一時的に音を消したいとき



リモコンの「MUTING」ボタンを押す

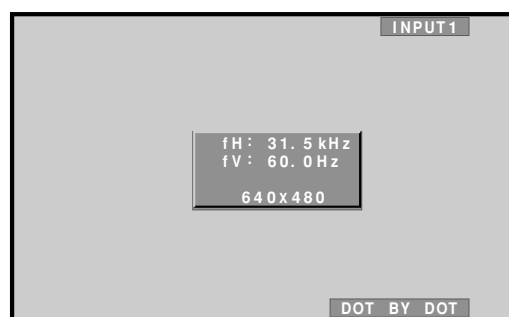
もう一度「MUTING」ボタンを押すと音が出ます。「MUTING」ボタンを押して約8分経つと、消音状態は自動的に解除されます。このとき、音量を最小の状態にして解除します。「VOLUME+」ボタンまたは「VOLUME-」ボタンを押して、好みの音量にしてください。

現在の状態を確認したいとき



リモコンの「DISPLAY」ボタンを押す

現在選択されている入力、画面サイズ、水平／垂直周波数が約3秒間表示されます



ご注意

周波数表示は実際と異なることがあります。

安全上のご注意

はじめに

各部の名称と機能

設置と接続

システムの設定

操作

画面の調整

その他の機能

その他

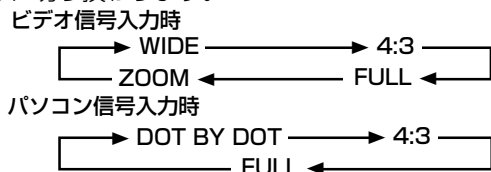
画面サイズの切り換え

本機は、様々な縦横比の画面モードに対応しています。見ている映像に合った正しい画面モードでご覧になることをお勧めします。これらの機能は、映像をワイドな画面いっぱい映すものですが、ご使用にあたっては、制作者の意図を十分に尊重してお楽しみいただくことをお勧めいたします。

画面サイズを切り換えるには

画面に映る映像の大きさや写し出す映像の範囲を、4種類の画面サイズに切り換えることができます。

「SCREEN SIZE」ボタンを押して、画面サイズを選ぶ
「SCREEN SIZE」ボタンを押すたびに画面モードが次のように切り換わります。



(パソコン信号入力時の画面サイズについては、37ページのパソコン信号対応一覧表をご覧ください。)

ご注意

- WIDE、ZOOMまたはFULLの画面モードを使って、4：3映像を画面いっぱいに引き伸ばすと、映像の一部に欠けやゆがみが生じることがあります。
- 本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、WIDE、ZOOMまたはFULLの画面モードを利用して、画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法により保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- DOT BY DOTや4：3の画面モードのとき、本機は画面の焼き付きを防ぐため、電源を入れるたびに画面枠の表示の位置を少しずつ変えています。

画面の位置を上下に動かすには

ビスタサイズの映画などを、ZOOMの画面サイズで見ると、映像が画面の中央からはずれたり、はみ出す場合があります。このようなときは、「▲/▼」ボタンで見やすい画面位置に調整してください。

入力信号に応じて画面サイズを自動的に切り換える

ハイビジョン映像信号またはHDTV映像信号（1125i、750p、1125p）を検出すると、自動的に画面サイズが「FULL」に切り換わります。

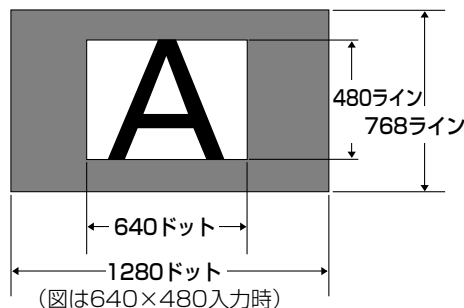
ビデオ信号入力時

画像の見え方	
WIDE 	ニュースやスポーツ番組などを見るときに適しています。映画やスポーツ番組などでは、広がり感のある迫力の映像が楽しめます。
4:3 	ニュースやドラマ番組などを見るときに適しています。映像ソフト本来の画面枠で見ることができます。(本機は画面の焼き付きを防ぐため、電源を入れるたびに画面枠の表示の位置を少しずつ変えています。)
FULL 	ワイド画面用の映像(スクイーズ)に適しています。
ZOOM 	劇場サイズの映像のうち、主に「シネスコ(シネマスコープ)サイズ」の映像を見るときなどに適しています。より広がり感のある迫力の映像が楽しめます。

パソコン信号入力時

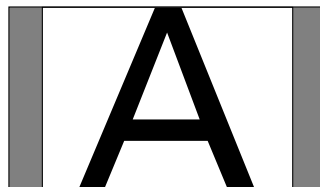
① DOT BY DOT

入力信号と画面のドット×ラインを1：1に対応させて、忠実に再生します。



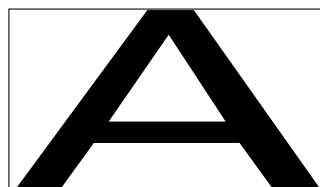
② 4：3

入力信号のアスペクト比を崩さずに、画面いっぱいに再生します。



③ FULL

入力信号を16：9の画面いっぱいに再生します。



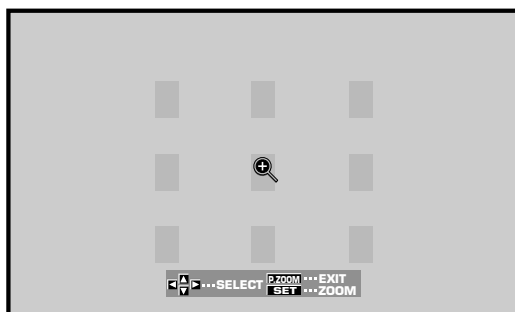
画面を部分的に拡大する (POINT ZOOM)

本機は画面の9カ所(AREA 1～AREA 9)のうちの1カ所を選び、1.5倍、2倍、3倍、4倍の拡大表示することができます。拡大表示時に「▲/▼/◀/▶」ボタンで表示場所を上下左右に移動できます。

ご注意

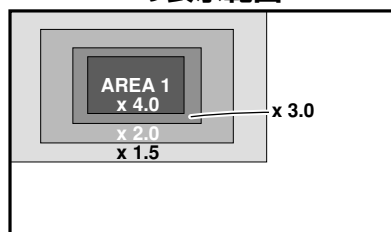
- POINT ZOOMはパソコン信号入力時のみ可能です。
- POINT ZOOMをオンすると画面サイズは「FULL」に切り換わります。

1 リモコンの「POINT ZOOM」ボタンを押す

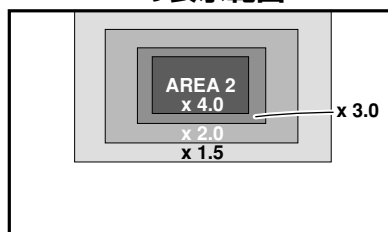


2 「▲/▼/◀/▶」ボタンを押して、AREA 1～AREA 9を選ぶ

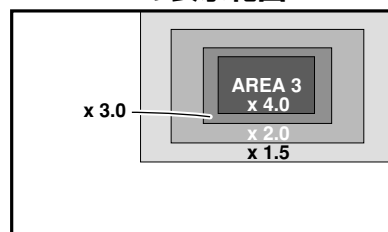
AREA 1の表示範囲



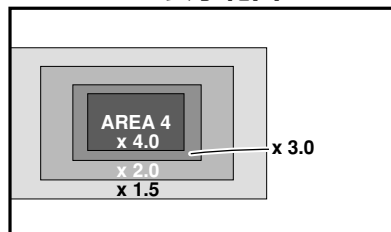
AREA 2の表示範囲



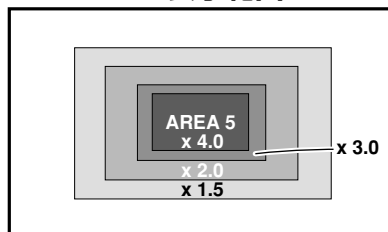
AREA 3の表示範囲



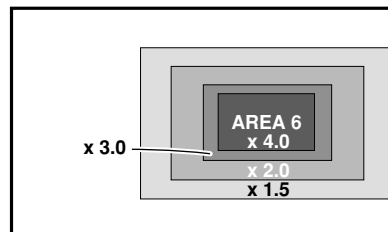
AREA 4の表示範囲



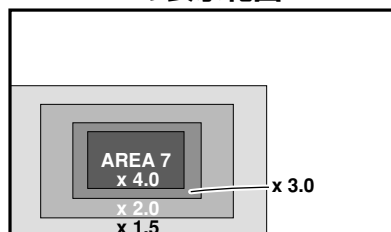
AREA 5の表示範囲



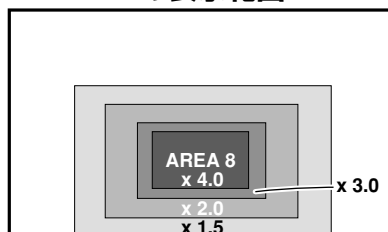
AREA 6の表示範囲



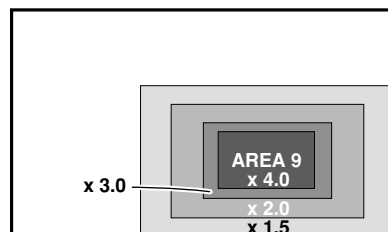
AREA 7の表示範囲



AREA 8の表示範囲

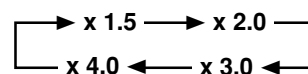


AREA 9の表示範囲



3 「SET」ボタンを押して拡大率を選ぶ

「SET」ボタンを押すたびに次のように拡大率が切り換わります。



- 拡大率を変えると、画面センターを中心に拡大します。
- 「▲/▼/◀/▶」ボタンで表示場所を上下左右に移動できます。
- 3秒間何も操作しないと、操作表示画面が消えます。再度「SET」「▲/▼/◀/▶」ボタンを押すと拡大率の変更、表示位置の変更ができます。

4 再びリモコンの「POINT ZOOM」ボタンを押すと、部分拡大(POINT ZOOM)は終了する

信号が変わったとき、メニューを開いたとき、INPUTが切り換わったときも部分拡大(POINT ZOOM)が終了します。

電源を自動的に切る

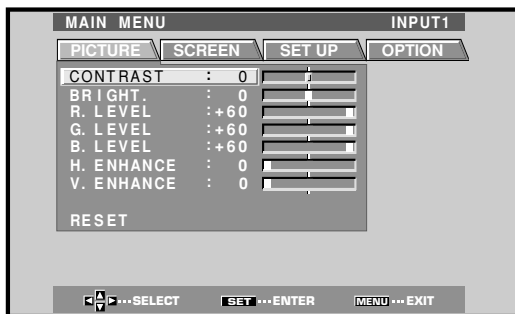
本機はパワーマネジメント機能とオートパワーオフ機能により同期信号を検知しない場合、自動的に省電力状態にすることができます。

(これらの機能が働く前に、画面にお知らせの表示が出ます。)

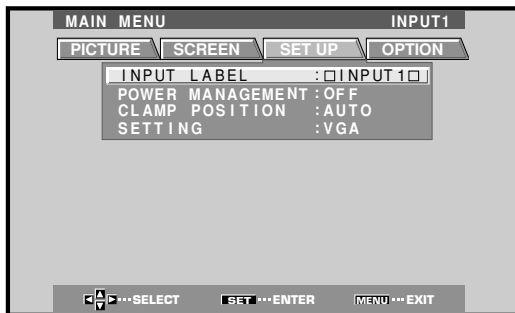
ご注意

- パワーマネジメント機能の設定はINPUT1にパソコン信号が入力されているときのみ可能です。
- オートパワーオフ機能の設定は上記(INPUT1にパソコン信号が入力されているとき)以外で可能です。
- 長時間使用しない場合は必ず主電源を切ってください。

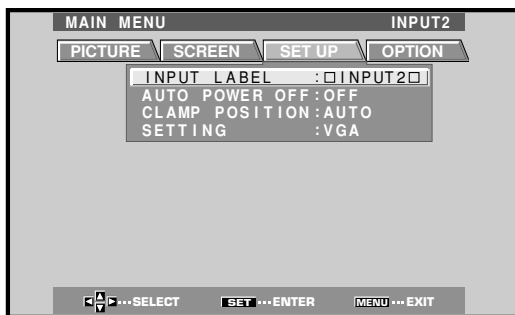
1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「◀/▶」ボタンを押して、「SET UP」を選ぶ 【INPUT1にパソコン信号が入力されているとき】



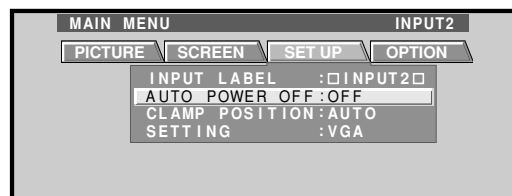
【上記以外のとき】



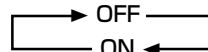
3 「▲/▼」ボタンを押して、「POWER MANAGEMENT」または「AUTO POWER OFF」を選ぶ 【INPUT1にパソコン信号が入力されているとき】



【上記以外の場合】



4 「SET」ボタンを押して、「POWER MANAGEMENT」または「AUTO POWER OFF」の設定を選ぶ



- 「OFF」を選ぶと、同期信号の有無にかかわらず本機は動作状態が続きます。
- 「POWER MANAGEMENT: ON」を選ぶと、同期信号を検知しないと本機の電源が省電力状態(*1)になりSTANDBY/ONインジケータが点滅(緑)します。その後、同期信号の入力が再開されると本機は動作状態に戻ります(*2)。
*1 約1W消費します。
*2 G ON SYNCまたはコンポジットSYNC入力時を除きます。
- 「AUTO POWER OFF: ON」を選ぶと、8分以上同期信号を検知しないと、30秒間画面にお知らせの表示をした後、本機の電源がスタンバイ状態になります。

5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

「POWER MANAGEMENT」「AUTO POWER OFF」の設定は、各入力(INPUT1～INPUT4)ごとに行ってください。

動作状態に戻すには

- 「POWER MANAGEMENT:ON」(省電力状態)から動作状態に戻すには
パソコンを動作させるか、本体またはリモコンの「INPUT」ボタンを押します。
- 「AUTO POWER OFF:ON」(電源スタンバイ状態)から動作状態に戻すには
本体またはリモコンの「STANDBY/ON」ボタンを押します。

画面の調整

画質を調整する

ご注意

この調整は、各入力(INPUT1~INPUT4)、および各信号ごとに行ってください。

「PICTURE」の調整項目

「PICTURE」から以下の項目を選択し調整します。

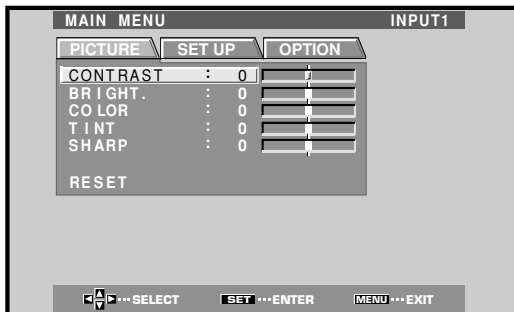
【ビデオ信号の場合】

- CONTRAST …… 周囲の明るさに合わせて、見やすくなるようにする
- BRIGHT. …… 画面の暗い部分が見やすくなるようにする
- COLOR …… 好みの色の濃さにする(やや濃いめに設定すると自然に見えます)
- TINT …… 肌色がきれいに見えるようにする
- SHARP …… 通常はセンターでご利用ください。柔らかい感じを出したいときはセンターより左側に、シャープな感じにしたいときは右側に設定してください。

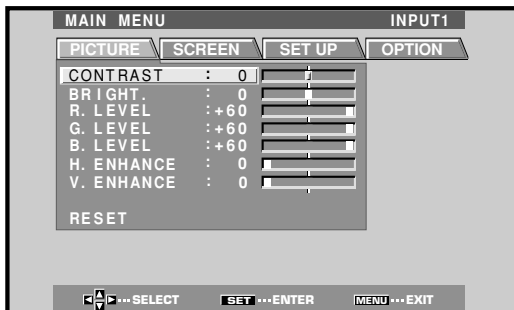
【パソコン信号の場合】

- CONTRAST …… 周囲の明るさに合わせて、見やすくなるようにする
- BRIGHT. …… 画面の暗い部分が見やすくなるようにする
- R. LEVEL …… 画面の赤色の強さを調整する
- G. LEVEL …… 画面の緑色の強さを調整する
- B. LEVEL …… 画面の青色の強さを調整する
- H. ENHANCE …… 水平方向を鮮鋭にする(はっきりさせる)
- V. ENHANCE …… 垂直方向を鮮鋭にする(はっきりさせる)

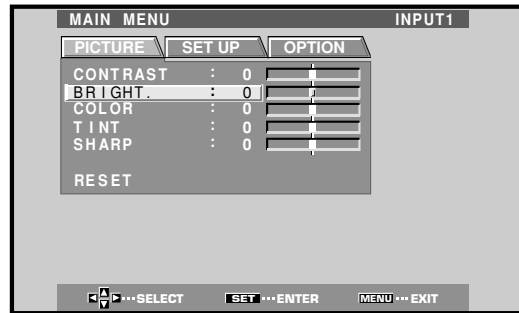
1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



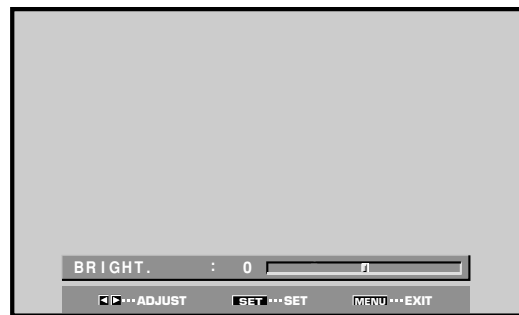
INPUT1またはINPUT2からパソコン信号を入力しているときは次のような画面が表示されます。



2 「▲/▼」ボタンを押して、調整する項目を選び、「SET」ボタンを押す



3 「◀/▶」ボタンを押して、好みの画質に調整する



4 「SET」ボタンを押す

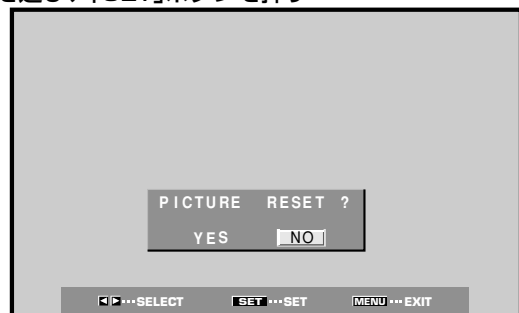
調整値がメモリーされ、手順2の画面に戻ります。

5 調整が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

「PICTURE」の調整内容を元の状態に戻すには

調整をしすぎたり映像が不自然になってしまったときは、調整を続けるよりも「PICTURE」の調整内容をいったん元の状態に戻した方がかえってうまくいく場合があります。

1 上記の手順2で、「▲/▼」ボタンを押して、「RESET」を選び、「SET」ボタンを押す



2 「◀/▶」ボタンを押して、「YES」を選び、「SET」ボタンを押す

「PICTURE」の調整値はすべて工場出荷時の値に戻ります。

安全上のご注意

はじめに

各部の名称と機能

設置と接続

システムの設定

操
作

画面の調整

その他の機能

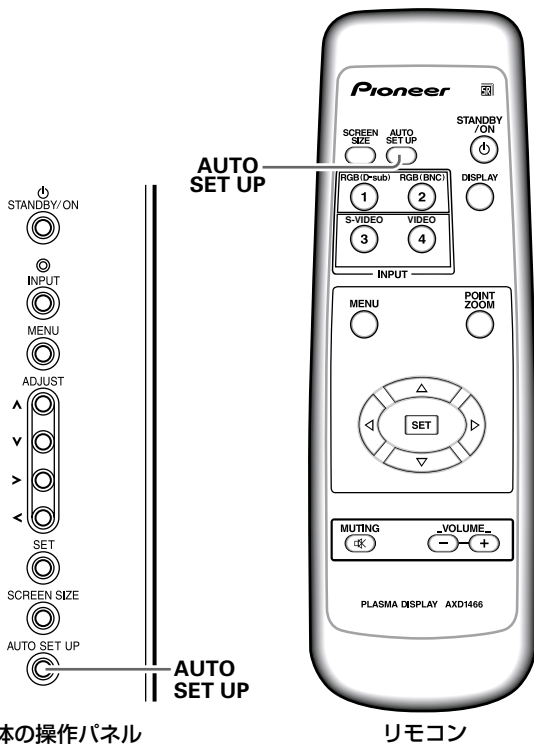
その他

画面の位置やクロックを調整する<自動調整>

リモコンまたは本体の「AUTO SET UP」ボタンを押すことにより、自動的に映像に合った画面の位置やクロックに調整することができます。

ご注意

- この調整は、パソコン信号入力時のみ可能です。
- この調整は、各入力(INPUT1またはINPUT2)および各信号ごとに行ってください。



本体の操作パネル

リモコン

リモコンまたは本体の「AUTO SET UP」ボタンを押す

- 輝度が低い信号など、入力されている信号によってはうまく調整できない場合があります。そのような場合は次項の「画面位置やクロックを調整する<手動調整>」を参照の上、調整してください。

画面の位置やクロックを調整する<手動調整>

パソコン信号を入力しているときに調整します。(ビデオ機器の信号を入力しているときは、この調整はできません。)

ご注意

この調整は、各入力(INPUT1またはINPUT2)および各信号ごとに行ってください。

「SCREEN」の調整項目

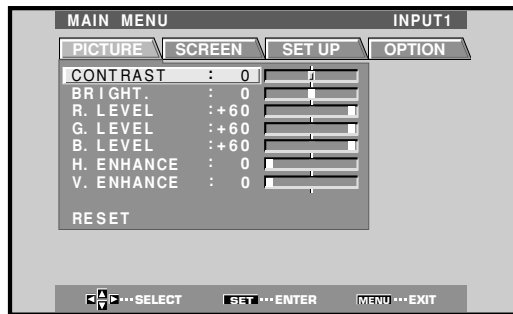
「SCREEN」から以下の項目を選択し調整します。
POSITION

- H.POSITION …… 映像の位置を左右に移動する
- V.POSITION …… 映像の位置を上下に移動する

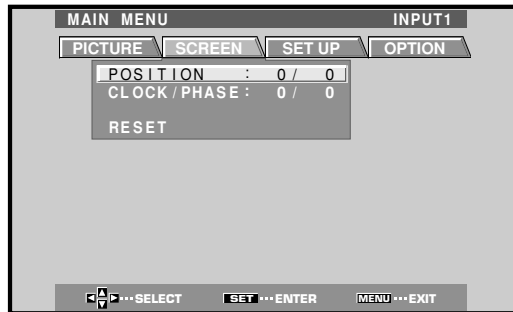
CLOCK/PHASE

- CLOCK …… 文字のつぶれやノイズがあるとき調整する。この調整を行うと、入力中の映像信号に対応する本機内のクロック周波数が調整されます。
- PHASE …… 文字のちらつきや色ずれがあるとき調整する。この調整を行うと、「CLOCK」で調整したクロックの位相が調整されます。

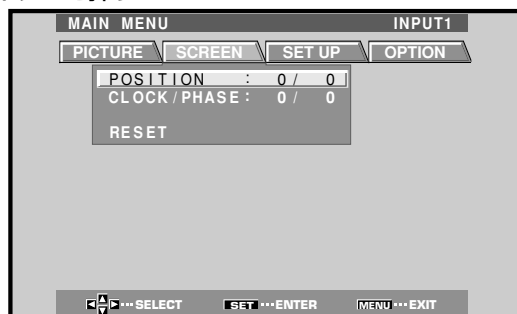
1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「←/→」ボタンを押して、「SCREEN」を選ぶ



- 3 「▲/▼」ボタンを押して、調整する項目を選び、「SET」ボタンを押す



- 4 「◀/▶」ボタンを押して、調整する



- 「V.POSITION」「PHASE」は、「▲/▼」ボタンを押して調整します。

- 5 「SET」ボタンを押す

調整値がメモリーされ、手順3の画面に戻ります。

- 6 調整が終わったら「MENU」ボタンを押して通常画面に戻す

ご注意

- 「CLOCK」の調整を行うと、「H. POSITION」の再調整が必要になることがあります。
- 「SCREEN」の調整項目を過度に行くと、正常な画面にならなくなる場合があります。

「SCREEN」の調整内容を元の状態に戻すには

調整をしすぎたり映像が不自然になってしまったときは、調整を続けるよりも「SCREEN」の調整内容をいったん元の状態に戻した方がかえってうまくいく場合があります。

- 1 左の手順3で、「▲/▼」ボタンを押して、「RESET」を選び、「SET」ボタンを押す



- 2 「◀/▶」ボタンを押して、「YES」を選び、「SET」を押す
「SCREEN」の調整値はすべて工場出荷時の値に戻ります。

その他の機能

入力表示を書き換える(INPUT LABEL)

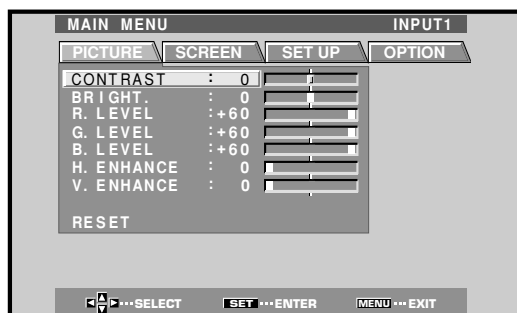
入力を切り換えた際に画面に表示される内容を書き換えることができます。

例えば、ふつうは「INPUT1」と表示されるのを、「COMPUTER」というように、接続している機器の名前で表示させることができます。(表示文字は最大8文字まで)

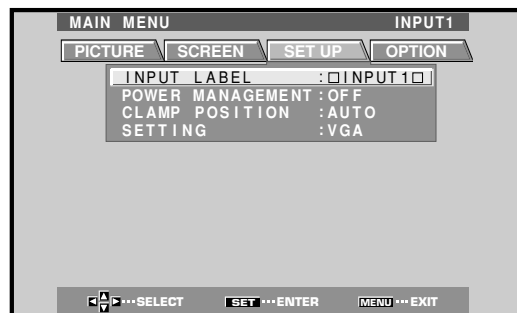
例：「INPUT1」という入力切替の表示を「COMPUTER」と書き換える場合

1 「INPUT」ボタンを押して、入力切替を「INPUT1」にする

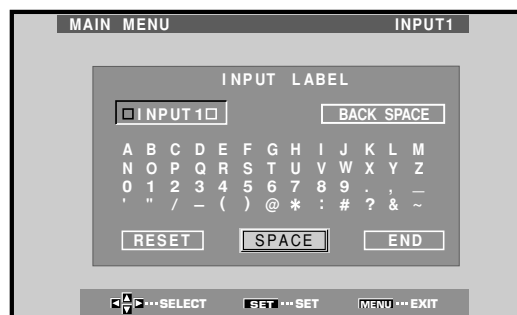
2 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



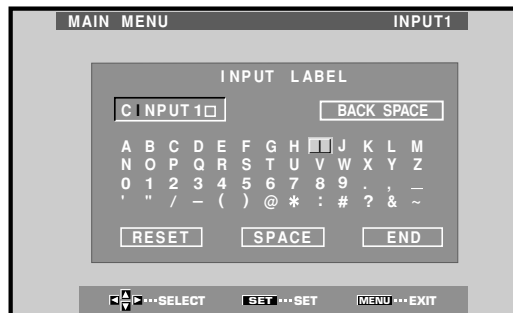
3 「◀/▶」ボタンを押して、「SET UP」を選ぶ



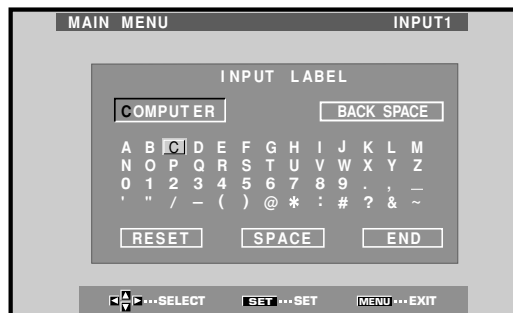
4 「SET」ボタンを押して、「INPUT LABEL」を選ぶ



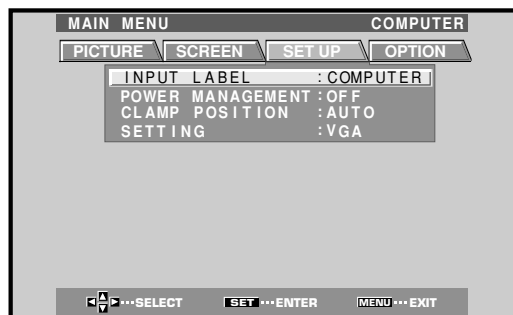
5 「◀/▶/▲/▼」ボタンを押して文字(例ではC)を選び、「SET」ボタンを押す(これをくり返して8文字を選ぶ)



- 使える文字はメニュー画面に表示される52種類です。
- 文字を選んで「SET」ボタンを押すと、入力ポイントが1文字進みます。
- 文字を間違えた場合は、「BACK SPACE」を選んで「SET」ボタンを押すと、入力ポイントが1文字戻ります。
- 表示を初期設定(例はINPUT1)に戻したい場合は、「RESET」を選んで「SET」ボタンを押してください。



6 すべての入力が終わったら、「◀/▶/▲/▼」ボタンを押して「END」を選び、「SET」ボタンを押す



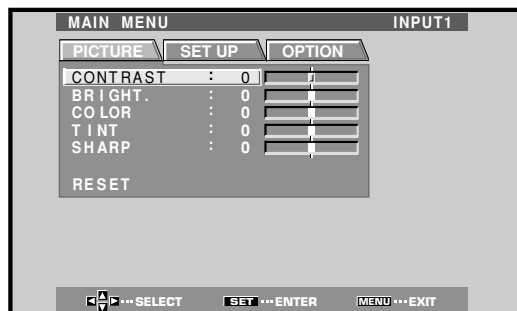
7 「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

色温度を変更する(COLOR TEMP)

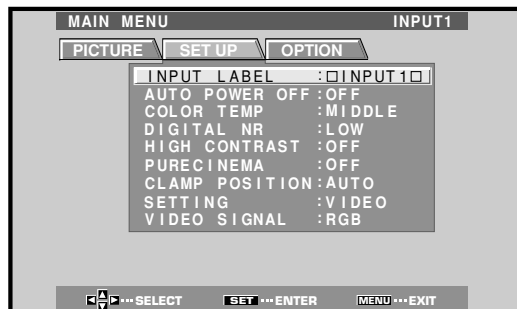
ご注意

色温度の設定は、ビデオ機器の信号入力時のみ可能です。また設定は、各入力(INPUT1~INPUT4)ごとに行ってください。

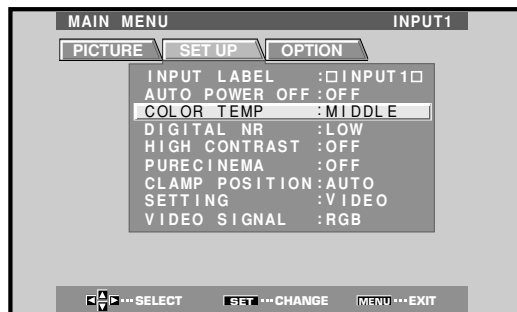
1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「◀▶」ボタンを押して、「SET UP」を選ぶ



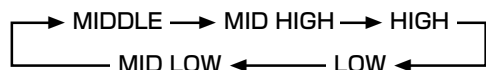
3 「▲▼」ボタンを押して、「COLOR TEMP」を選ぶ



4 「SET」ボタンを押して、好みの色温度を選ぶ

工場出荷時は「MIDDLE」に設定されています。

「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

映像のノイズ感を低減する(DIGITAL NR)

映像のノイズ感が気になるときに設定します。

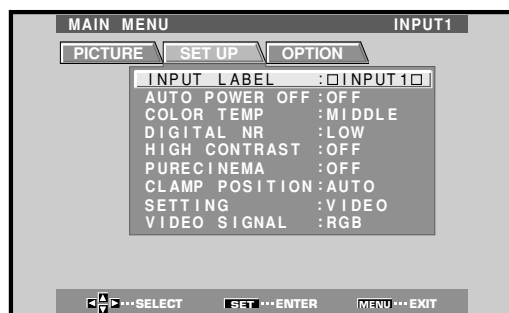
ご注意

「DIGITAL NR」の設定は、ビデオ機器の信号入力時のみ可能です。また設定は、各入力(INPUT1~INPUT4)ごとに行ってください。

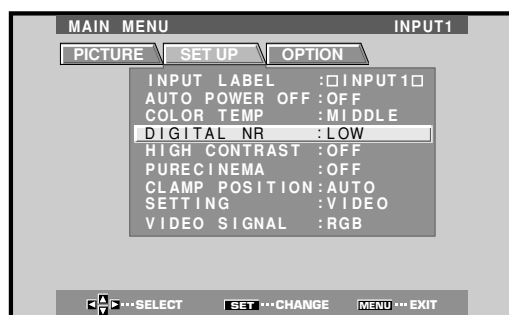
1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「◀▶」ボタンを押して、「SET UP」を選ぶ



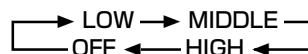
3 「▲▼」ボタンを押して、「DIGITAL NR」を選ぶ



4 「SET」ボタンを押して、デジタルNR機能の設定を選ぶ

工場出荷時は「LOW」に設定されています。

「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



- 「LOW」→「MIDDLE」→「HIGH」の順に効果が大きくなります。

5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

安全上のご注意

はじめに

各部の名称と機能

設置と接続

システムの設定

操作

画面の調整

その他の機能

その他

ピュアシネマを設定する(PURECINEMA)

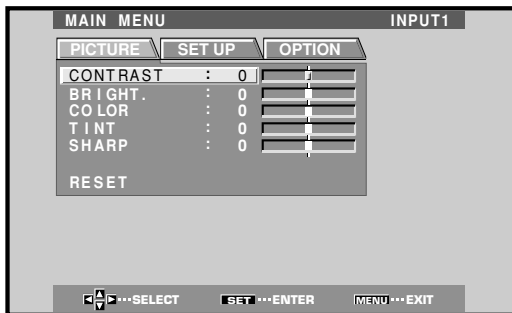
ピュアシネマ機能は、映画フィルムなど毎秒24コマで撮影された映像信号を自動判別し、映画などをより高画質でお楽しみいただくために、プログレッシブの映像信号に変換する機能です。通常ピュアシネマ機能を使用するときは「HQ」にしてください。

映像処理のため音声信号と時間差が発生しますので、気になるときは「STANDARD」にしてください。「OFF」(工場出荷状態)に設定しますと、通常のプログレッシブの変換のみを行います。

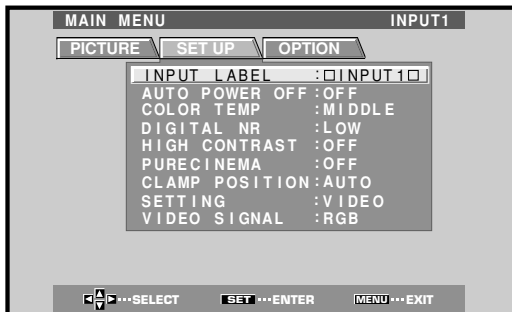
ご注意

ピュアシネマの設定は、525i(480i)またはNTSCの信号入力時のみ可能です。この設定は各入力(INPUT1～INPUT4)ごとに行ってください。

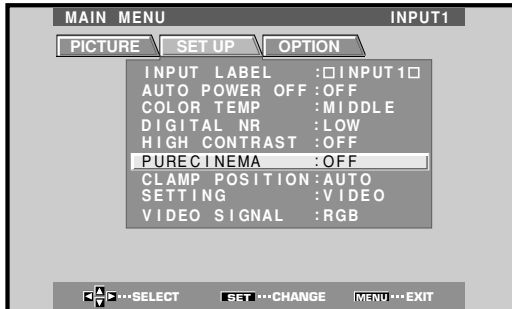
1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「◀/▶」ボタンを押して、「SET UP」を選ぶ



3 「▲/▼」ボタンを押して、「PURECINEMA」を選ぶ



4 「SET」ボタンを押して、ピュアシネマモードを選ぶ

「SET」ボタンを押すたびに画面モードが次のように切り換わります。



5 「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

動きの早い映像を見る(3D Y/C MODE)

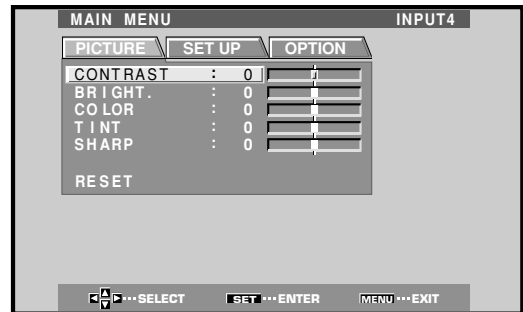
スポーツ番組など、動きの早い映像を見るときに「MOTION」に設定しておくこと、映像のぼけを軽減し、よりクリアな映像が楽しめます。

- 動きの早い映像を見るとき以外は「STILL」に設定してください。

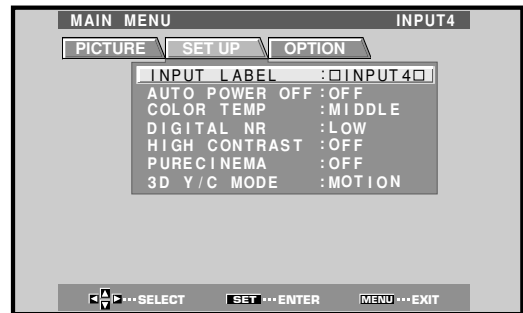
ご注意

「3D Y/C MODE」の設定は、INPUT4が選ばれているときに限り可能です。

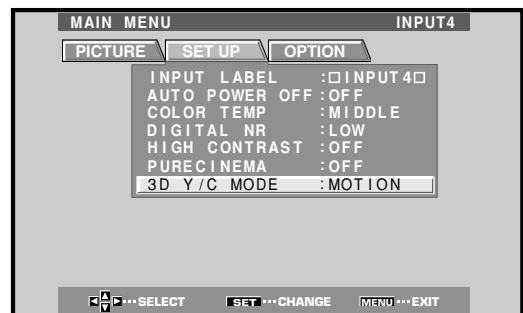
1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「◀/▶」ボタンを押して、「SET UP」を選ぶ



3 「▲/▼」ボタンを押して、「3D Y/C MODE」を選ぶ



4 「SET」ボタンを押して、「MOTION」を選ぶ

工場出荷時は「MOTION」に設定されています。「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

明るい場所に設置するとき (HIGH CONTRAST)

「ON」にしておくと、明るい場所でもくっきりとした映像が楽しめます。

- 明るい場所に設置するとき以外は「OFF」に設定してください。

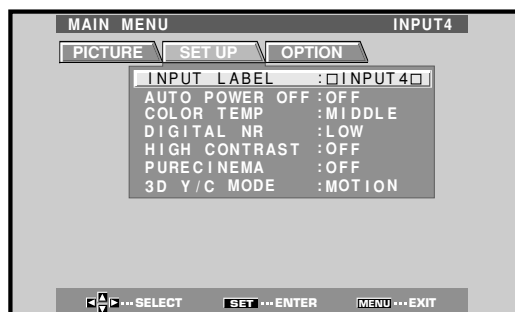
ご注意

「HIGH CONTRAST」の設定は、ビデオ機器の信号入力時のみ可能です。また設定は各入力(INPUT1~INPUT4)ごとに行ってください。

- 1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



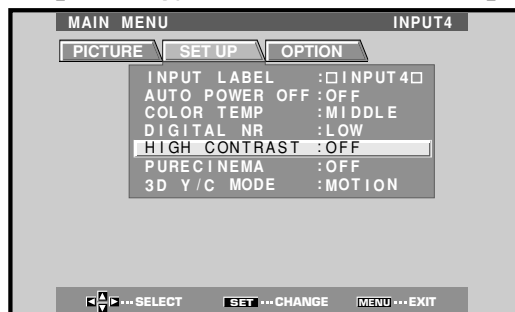
- 2 「◀/▶」ボタンを押して、「SET UP」を選ぶ



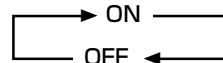
INPUT1またはINPUT2のときは、次のような画面が表示されます。



- 3 「▲/▼」ボタンを押して、「HIGH CONTRAST」を選ぶ



- 4 「SET」ボタンを押して、「ON」を選ぶ
工場出荷時は「OFF」に設定されています。「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



- 5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

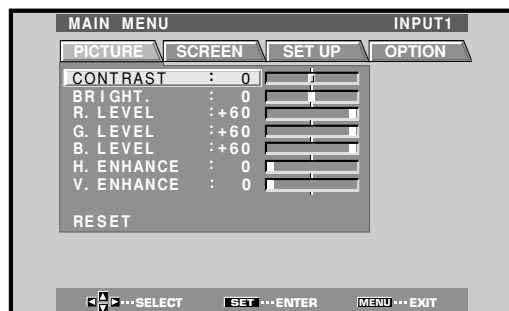
パワーコントロール機能

本機は画面の明るさを制御することにより、消費電力を低減させたり、パネルの劣化を軽減することができます。

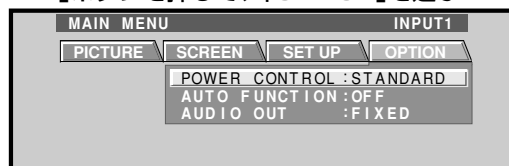
ご注意

「POWER CONTROL」の設定は、全ての入力に共通した設定項目です。

- 1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする

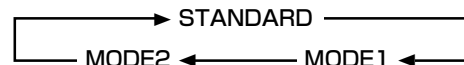


- 2 「◀/▶」ボタンを押して、「OPTION」を選ぶ



- 3 「SET」ボタンを押して、「POWER CONTROL」の設定を選ぶ

工場出荷時は「STANDARD」に設定されています。「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



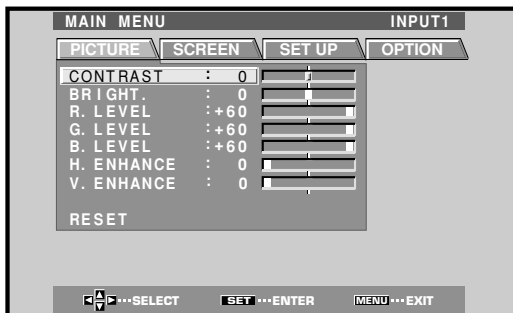
- 「STANDARD」を選ぶと入力信号に合わせて明るさを制御することにより、明るく見やすい画面になります。
- 「MODE1」も「STANDARD」同様、明るさを制御していますが、より少ない消費電力で動作するように設定されています。
- 「MODE2」は入力信号によらず明るさを固定します。これによって焼き付き等によるパネルの劣化を軽減する効果があります。

- 4 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

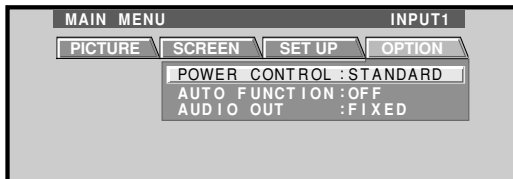
自動で入力を切り換える (AUTO FUNCTION)

本機はオートファンクション機能により、設定した入力で映像信号が検出されたとき、自動的にその入力に切り換えることができます。

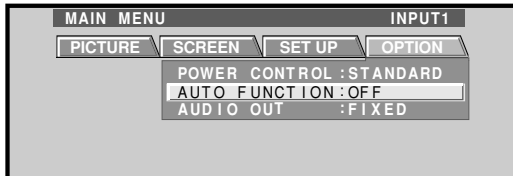
- 1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



- 2 「◀/▶」ボタンを押して、「OPTION」を選ぶ

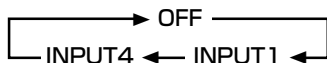


- 3 「▲/▼」ボタンを押して、「AUTO FUNCTION」を選ぶ



- 4 「SET」ボタンを押して、入力を選ぶ

工場出荷時は「OFF」に設定されています。
「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



- 「OFF」を選ぶとオートファンクション機能は働きません。
- 「INPUT1」または「INPUT4」を選ぶと、選んだ入力への信号を検出したとき、自動的にその入力に切り換えます。このあと、リモコンまたは本体の「INPUT」ボタンを押しても入力は切り換わりません。(このとき画面には「AUTO」と表示されます。)
また、オートファンクションで入力が切り換わった後、信号入力が無くなると、オートファンクション機能により切り換わる前の入力へ戻ります。

- 5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

「INPUT1」はセパレートSYNCまたはコンポジットSYNCアナログRGB信号が入力されたときのみ、オートファンクション機能が働きます。(G ON SYNCまたはコンポーネント映像信号入力時は働きません。)

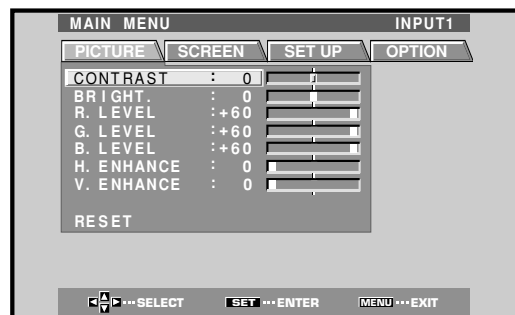
オーディオ出力について(AUDIO OUT)

AUDIO OUTPUT端子から得られる音声出力の音量を、固定(FIXED)、ボリューム連動(VARIABLE)から選べます。

ご注意

「AUDIO OUT」の設定は、全ての入力(INPUT1～INPUT4)に共通した設定項目です。

- 1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



- 2 「◀/▶」ボタンを押して、「OPTION」を選ぶ



- 3 「▲/▼」ボタンを押して、「AUDIO OUT」を選ぶ



- 4 「SET」ボタンを押して、オーディオ出力の設定を選ぶ

工場出荷時は「FIXED」に設定されています。
「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



- 「FIXED」を選ぶと本機の「VOLUME」を調整してもオーディオ出力の音量は変化しません。
- 「VARIABLE」を選ぶと「VOLUME」の調整値に合わせてオーディオ出力の音量が変化します。

- 5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

お手入れについて

本機の寿命と性能の向上のため、定期的なお手入れをお勧めします。以下の要領で画面やその他の部分の清掃を行ってください。

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体とリモコンのお手入れ

ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。本体やリモコンが変質したり塗料がはげたりすることがあります。

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布を浸し、よく絞ってふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

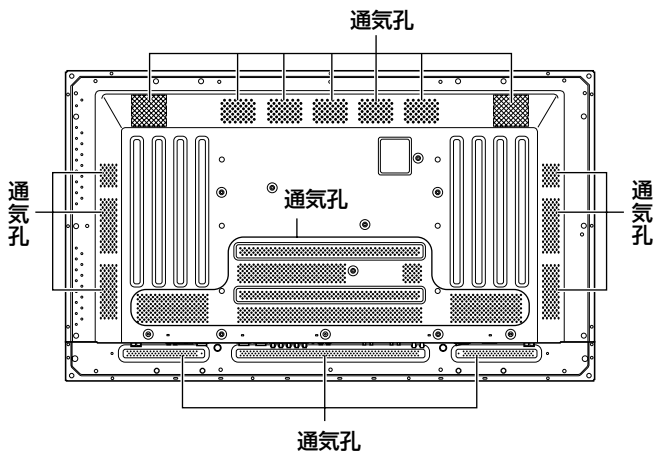
画面のお手入れ

ほこりを払い落としした後、付属の布(ワイピングクロス)、または柔らかい布で軽くふき取ってください。ティッシュや硬いものでふかないでください。表面は傷つきやすいので硬いものでこすったり、たいたたりしないでください。

通気孔のお手入れ

本体背面にある通気孔は、1ヵ月に1回を目安に掃除機でほこりを吸い取ってください(このとき掃除機は「弱」に設定してください)。

ほこりをためたまま使用すると内部の温度が上昇し、故障や火災の原因となります。



故障かな?と思ったら

故障かな?と思っても故障でない場合があります。

画面に警告の表示が出ているか確認してください。表示されていたら、以下を参照して状態をチェックしてください。なにも表示されないときは、34ページの表からあてはまる症状をチェックしてください。また本機以外の原因も考えられますので、ご使用の機器なども合わせてお調べください。チェックしても直らない場合は、お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

自己診断機能について

動作や接続に不具合があるとき、画面にメッセージが表示されます。内容をご確認の上、状態をチェックしてください。

こういう表示が出たら	こうしてください
CAUTION OUT OF RANGE または CAUTION UNSUPPORTED SIGNAL	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の対応外信号が入力されています。 37ページのパソコン入力信号対応表を確認して、パソコン側の出力信号の設定を変えてください。
WARNING THERMAL ALERT	<ul style="list-style-type: none"> ● 主電源を切ってください。(7ページ) ● 室内の温度が40℃以上になっていませんか? ● ディスプレイの通気孔が塞がっていたら、障害物を取り除いてください。
WARNING FAN FAILURE	<ul style="list-style-type: none"> ● ファンに異常があります。すぐに主電源を切り、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
ERROR INVALID KEY ENTRY	<ul style="list-style-type: none"> ● 無効な操作です。(例: ビデオ信号入力時に「POINT ZOOM」ボタンを押した。) 入力信号や接続、各種設定を確認してください。
SHUT DOWN	<ul style="list-style-type: none"> ● 一度主電源を切って、1~2分後にもう一度電源を入れてください。それでも解消されない場合は、電源プラグを抜いて、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

一般的な症状について

症 状	原 因
● 電源が入らない	● 電源プラグが外れていませんか？(16ページ) ● MAIN POWERスイッチは「ON」にしてありますか？(7ページ)
● 操作できない	● 落雷、静電気など外部からの影響により正常に動作しない場合があります。このような場合は主電源を入/切するか、電源コードを抜いて1～2分後に再度差し込んでから操作してください。
● リモコンで操作できない	● 電池の極性(+、-)の向きは正しいですか？(5ページ) ● 電池は消耗していませんか？(新しい電池と交換してください。) ● CONTROL IN端子にプラグが差し込まれていませんか？ プラグが差し込まれていると、リモコンの信号を受け付けなくなるので、接続を確認してください。(15ページ)
● 入力が切り換わらない	● オートファンクション機能を使っていませんか？(32ページ)
● 画面が欠ける	● 画面サイズは合っていますか？ 他の画面サイズに切り換えてください。(22ページ) ● 画面サイズ調整など「SCREEN」の調整は適切ですか？(26～27ページ) ● ポイントズーム機能を使っていませんか？(23ページ)
● 色がおかしい、画面が薄い、または濃い、色がずれている	● 画質を調整してください。(25ページ) ● 部屋が明るすぎませんか？ 明るすぎる部屋では、画面が暗く見えることがあります。 ● CLAMP POSITIONの設定は正しいですか？(19ページ)
● 電源がひとりでに切れた	● 本機の内部温度が高くなっている。(通気孔がふさがっている。) 通気孔の障害物を取り除いてください。(33ページ) ● パワーマネジメント機能またはオートパワーオフ機能の設定が「ON」になっていませんか？(24ページ) ● 急に室温が上がる等して本機の内部に露がついている(結露)。よく乾燥するまで放置してから使用してください。
● 映像が出ない	● 他機器との接続は正しいですか？(9～15ページ) ● 接続後の設定は済んでいますか？(18～19ページ) ● 入力切換は正しいですか？(20ページ) ● 本機の対応外の信号が入力されていませんか？(9, 37, 38ページ) ● 画質調整は正しいですか？(25ページ)

故障とまちがしやすい症状について

症 状	原 因
● 画面が小さく表示される	● 入力信号対応表を確認してください。(37, 38ページ) ● 画面サイズは合っていますか？(22, 26, 27ページ)
● 画面の文字が欠けている	● メニュー画面の「SCREEN」を使って調整する。(26～27ページ) それでも直らない場合は、本機で表示できる範囲を越えている場合があります。パソコンの入力信号対応表を確認してください。(37, 38ページ)
● キャビネットから時々「ビシッ」と音がする	● 周囲の温度変化によって、キャビネットがわずかに膨張・収縮するため、きしみ音が出ることがあります。これは故障ではありません。
● 映像の明るい部分がつぶれて見える	● 映像入力信号のレベルが高すぎる場合、明るい部分がつぶれぎみに見える場合があります。 コントラストの調整値を下げて確認してください。(25ページ)
● 画面に斑点が出る、ノイズが出る	● ヘアドライヤー、電気掃除機、電気ドリルなどのモーター機器、自動車、オートバイなどの点火装置、サーモスタットなどの点滅機器、ネオンサイン、送・配電線などの放電による妨害電波の影響が考えられます。
● 画面に縞模様が出る	● テレビ局、FM局、アマチュア無線、市民無線(簡易無線)、など、また、近くのパソコン、テレビ、ビデオ、オーディオ機器などからの電波混入が考えられます。 ● 強電磁界の環境においては、画面が乱れる等の障害を受けます。
● 本体内部より音がする	● ファンやプラズマディスプレイパネルの駆動音です。故障ではありません。
● ファンが回っていない	● 周囲温度が約35℃以上(設置条件により異なります)になった場合のみ、ファンが回転するように設計されています。故障ではありません。
● ファンの回転数が変化している	● 周囲温度に応じてファンの回転数を制御しています。故障ではありません。

本機は高精度技術によって製造されておりますが、極めてわずかに画素欠け、誤発光等が生じる事がありますが、故障ではありません。

ご注意

本機のディスプレイはパネルや回路の保護のために、周囲温度により自動的にファンのON/OFFや回転数を可変し、内部を冷やします(その際ファンの回転する音が変化します)。

本機は40℃以下の周囲温度でご使用ください。

その他の注意点

●本機を使用中に電源が自動的に切れた場合、次のようなことが考えられます。

- ① パワーマネジメント機能またはオートパワーオフ機能の設定が「ON」になっていませんか？(24ページ)
- ② 周囲温度が40℃を超えているとき。本機は周囲温度40℃以下で使用してください。
- ③ 通気孔がふさがれている、あるいは部品が異常発熱している等で、本機の内部温度が異常に上昇している場合。
- ④ 本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと動作部に露がつくことがあります(結露)。本機は回路保護のため、結露を検知すると自動的に電源を切ります。このような場合は、よく乾燥するまで放置してから使用してください。

上記以外の理由で電源が自動的に切れた場合は、故障が考えられます。電源コードをコンセントから抜き、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

●本機のプラズマディスプレイパネルは大変明るく、近い距離で長い時間画面を見ていると目が疲れます。適度な距離(3~6m)をおいて見ることをお奨めします。

STANDBY/ONインジケータについて

パワーマネジメント機能が働いているときは、緑が約2秒おきに点滅します。(24ページ)

緑がこれとは違う点滅をしているときは、本機が異常を検出しています。画面のメッセージ(33ページ)や周囲の環境(温度、結露など)を確認して対処してください。(34~35ページ)

それでも解消されない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

また、「STANDBY/ON」ボタンを押して、スタンバイ状態にしたときは、赤が数秒間点滅します。(20ページ)

これとは別に、電源がひとりでに切れたり、電源が入らないときに、赤が点滅し続けている場合は、本機の故障が考えられます。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

プラズマパネルの保護機能について

写真やコンピューター画像などの動きのない映像を長い時間表示すると、画面がやや暗くなります。これはプラズマパネルの保護機能が、動きの少ない映像を検知すると自動的に明るさを調整して画面を保護するためで、故障ではありません。

この機能は、動きの少ない映像を約3分間検知すると働きます。

ご注意

パネルの焼き付きと残像

●静止画像など同じ絵柄の映像を長い時間表示すると、画面が焼き付く恐れがあります。焼き付きには次の2つの原因があります。

1.電気負荷の残留による残像

輝度の非常に高い映像を1分以上表示すると、電気負荷の残留により残像ができることがあります。これは動画を表示するとやがて消えます。残像が消えるまでにかかる時間は、もとの映像の輝度と表示時間によって異なります。

2.焼き付きによる残像

プラズマディスプレイに同じ絵柄を長時間表示しないでください。同じ絵柄を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日くり返したりすると、蛍光素材の焼き付きにより残像ができることがあります。この場合は、動画の映像によって目立たなくなることがありますが、完全に消えることはありません。

●パワーコントロール機能の設定により、焼き付きの発生を軽減することができます。(31ページ)

安全上の注意

はじめに

各部の名称と機能

設置と接続

システムの設定

操作

画面の調整

その他の機能

その他

仕様

本体

発光パネル	50インチプラズマディスプレイパネル
画素数	1280 × 768
電源	AC 100 V, 50/60 Hz
消費電力	348 W
年間消費電力量	492 kWh/年
スタンバイ消費電力	1 W
外形寸法	1218 (幅) × 714 (高さ) × 98 (奥行) mm
質量	39.2 kg
動作条件温度	0~40°C
動作条件気圧	800~1,100 hPa

入出力端子

映像系

INPUT 1

- 入力** ミニD-sub15ピンコネクタ(メス)
- ① RGB信号(G ON SYNC対応)
 RGB...0.7Vp-p/75Ω/同期無し
 HD/CS, VD...TTLレベル
 /正負極性/2.2kΩ
 G ON SYNC
 ...1Vp-p/75Ω/同期負
 ※Microsoft社Plug & Play
 (VESA DDC 1/2B)対応

- ② コンポーネント映像信号
 Y...1Vp-p/75Ω/同期負
 C_B/P_B, C_R/P_R
 ...0.525Vp-p/75Ω
 (75%飽和度)

- 出力** ミニD-sub15ピンコネクタ(メス)
 75Ω/バッファ内蔵

INPUT2

- 入力** BNC端子(x5)
- ① RGB信号(G ON SYNC対応)
 RGB...0.7Vp-p/75Ω/同期無し
 HD/CS, VD...TTLレベル
 /正負極性/75Ω または 2.2kΩ
 (インピーダンス切り換え付き)
 G ON SYNC
 ...1Vp-p/75Ω/同期負
- ② コンポーネント映像信号
 Y...1Vp-p/75Ω/同期負
 C_B/P_B, C_R/P_R
 ...0.525Vp-p/75Ω
 (75%飽和度)

INPUT3

- 入力** S端子(ミニDIN4ピンコネクタ)
 ・ Y/Cセパレート映像信号 (NTSC)
 Y...1Vp-p/75Ω/同期負
 C...0.286Vp-p/75Ω

INPUT4

- 入力** BNC端子
 ・ コンポジット映像信号 (NTSC)
 1Vp-p/75Ω/同期負
- 出力** BNC端子
 75Ω/バッファ内蔵

音声系

- 入力** AUDIO INPUT (INPUT1/2用)
 ステレオミニジャック
 L/R...500mVrms/10kΩ以上
- AUDIO INPUT (INPUT3用)
 ピンジャック (x 2)
 L/R...500mVrms/10kΩ以上
- AUDIO INPUT (INPUT4用)
 ピンジャック (x 2)
 L/R...500mVrms/10kΩ以上

- 出力** AUDIO OUTPUT
 ステレオミニジャック
 L/R...最大500mVrms/5kΩ以下
- SPEAKER
 L/R...8 ~ 16Ω/2W+2W(8Ω時)

制御系

- RS-232C端子... D-sub 9ピンコネクタ(オス)
 COMBINATION IN/OUT
 ... ミニDIN6ピンコネクタ(x2)
 CONTROL IN/OUT... モノラルミニジャック(x2)

付属品

電源コード	1
リモコン	1
単3形乾電池	2
ワイピングクロス	1
スピードクランプ	2
ビーズバンド	2
BNC/ピン変換アダプター	4
3→2ピン電源変換プラグ	1
取扱説明書	1
保証書	1
ご相談窓口、修理窓口のご案内	1

- 上記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります

付録1

パソコン信号対応一覧表 (INPUT1, INPUT2)

解像度 (ドットxライン)	垂直周波数	水平周波数	表示画面サイズ(ドットxライン)			備考
			DOT BY DOT	4:3	FULL	
640x400	56.4Hz	24.8kHz			○ 1280x768	NEC PC-9800
	70.1Hz	31.5kHz			↑	NEC PC-9800
640x480	60Hz	31.5kHz	◎ 640x480	○ 1024x768	○ 1280x768	(852x480) (864x480)
	66.7Hz	35.0kHz	↑	↑	↑	Apple Macintosh 13"
	72Hz	37.9kHz	↑	↑	↑	
	75Hz	37.5kHz	↑	↑	↑	
	85Hz	43.3kHz	↑	↑	↑	
800x600	56Hz	35.2kHz	◎ 800x600	○ 1024x768	○ 1280x768	
	60Hz	37.9kHz	↑	↑	↑	(1072x600)
	72Hz	48.1kHz	↑	↑	↑	
	75Hz	46.9kHz	↑	↑	↑	
	85Hz	53.7kHz	↑	↑	↑	
832x624	74.6Hz	49.7kHz	◎ 832x624	○ 1024x768	○ 1280x768	Apple Macintosh 16"
852x480	60Hz	31.7kHz	◎ 852x480		○ 1280x768	
1024x768	60Hz	48.4kHz	◎ 1024x768		○ 1280x768	(1376 x 768)
	70Hz	56.5kHz	↑		↑	
	75Hz (74.9Hz)	60.0kHz (60.2kHz)	↑		↑	()内はApple Macintosh 19"
	85Hz	68.7kHz	↑		↑	
1280x768	56Hz	45.1kHz	◎ 1280x768			
	60Hz	48.4kHz	↑			
	70Hz	55.5kHz	↑			

で表示されている画面は選べません。

記号説明

- ◎ : 最適な映像が得られます。「SCREEN」(位置、周波数、位相)の調整が必要になる場合があります。
- : 拡大映像のため、細かい情報が見にくくなります。

安全上の注意

はじめに

各部の名称と機能

設置と接続

システムの設定

操作

画面の調整

その他の機能

その他

付録2

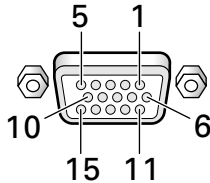
ビデオ信号対応一覧表(INPUT1, INPUT2)

垂直周波数 f _v (Hz)	水平周波数 f _H (kHz)	信号方式	表示画面サイズ				備 考
			4:3	FULL	ZOOM	WIDE	
50	15.625	コンポーネント RGB	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	
	28.1	コンポーネント RGB	---	○ ○	---	---	
	31.25	コンポーネント RGB	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	
60	15.734	コンポーネント RGB	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	525i (480i) /SDTV
	31.5	コンポーネント RGB	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	525p (480p) /SDTV
	33.75	コンポーネント RGB	---	○ ○	---	---	1125i (1080i) /HDTV 1125i (1035i) /HDTV ハイビジョン映像信号
	45.0	コンポーネント RGB	---	○ ○	---	---	750p (720p) /HDTV
	67.5	コンポーネント RGB	---	○ ○	---	---	1125p (1080p) /HDTV

■で表示されている画面は選べません。

付録3

INPUT1 (ミニD-sub 15ピンコネクタ:メス)ピン配列



ピンNo.	入力側	出力側
1	RまたはC _R /P _R	←
2	GまたはY	←
3	BまたはC _B /P _B	←
4	NC(未接続)	←
5	GND	←
6	GND	←
7	GND	←
8	GND	←
9	DDC +5V	NC(未接続)
10	GND	←
11	NC(未接続)	←
12	DDC SDA	NC(未接続)
13	HDまたは H/V SYNC	←
14	VD	←
15	DDC SCL	NC(未接続)

用語解説

アスペクト比

テレビ画面の幅と高さをアスペクト比と呼びます。通常のテレビでは4:3、ワイドテレビやハイビジョンテレビでは16:9です。

S端子(S VIDEO端子)

映像信号を輝度信号と色信号に分け、別々に伝送する端子のことです。コンポジット信号での入出力よりも再現性が優れています。

S映像信号

映像信号は、色を制御する色信号と明暗を制御する輝度信号の2種類で構成されています。これらの信号は、通常のビデオ機器では1つに組み合わせて「コンポジット信号」として扱われますが、S映像信号ではそれぞれが分離しており、混成による信号の品質の低下がありません。

コンポーネント映像信号

Y.Cb.Cr、Y.Pb.Pr、Y.B-Y.R-Yなど、輝度信号と色信号をそれぞれ単独の組み合わせで扱う映像信号の総称です。単に「色差信号」と呼ぶこともあります。

G ON SYNC

RGB信号のうち緑(G)信号に同期信号が組み合わさった形の映像信号です。

VGA

「Video Graphics Array」の略称です。通常は640×480の解像度を指します。

XGA

「eXtended Graphics Array」の略称です。通常は1024×768の解像度を指します。

AppleおよびMacintoshは、Apple Computer Inc.の商標です。
 Microsoftは、Microsoft Corporationの商標です。
 NECおよびPC-9800 は日本電気（株）の商標です。
 VESAおよびDDCは、Video Electronics Standards Associationの商標です。
 Power ManagementおよびSun MicrosystemsはSun Microsystems,Inc.の商標です。
 VGAおよびXGAはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。
 iモードは（株）NTTの登録商標です。

保証とアフターサービスについて

保証書(別添)について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品の製造打ち切り後 8年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。

所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

33~35ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- 電話番号
- 製品名： **プラズマディスプレイ**
- 型番： **PDP-503PRO**
- お買い上げ日 □□年□□月□□日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問のご希望日
- ご自宅までの道順と目標(建物、公園など)

■保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。



音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量は、貴方の心がけ次第で大きくも小さくもなります。

特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

K021 Ja

安全上のご注意

はじめに

各部の名称と機能

設置と接続

システムの設定

操作

画面の調整

その他の機能

その他

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

- 家庭用オーディオ/ビジュアル製品のお問い合わせ窓口 **☎0070-800-8181-22**
- カタログのご請求窓口 **☎0070-800-8181-33**

<ご注意> ● PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
● 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

愛情点検



長年ご使用のオーディオ/ビジュアル製品の点検をおすすめいたします。

こんな症状はありませんか

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードにさけめやひび割れがある。
- 電気が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。